

「郷土を愛し、未来を創る人づくり」のための
自己点検・評価報告書

2020年3月

御前崎市教育委員会

〈参考〉地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

第二十七条 地方公共団体の長は、当該地方公共団体が設置する幼保連携型認定こども園に関する事務のうち、幼保連携型認定こども園における教育課程に関する基本的事項の策定その他の当該地方公共団体の教育委員会の権限に属する事務と密接な関連を有するものとして当該地方公共団体の規則で定めるものの実施に当たっては、当該教育委員会の意見を聴かななければならない。

第二十九条 地方公共団体の長は、歳入歳出予算のうち教育に関する事務に係る部分その他特に教育に関する事務について定める議会の議決を経るべき事件の議案を作成する場合には、教育委員会の意見をきかななければならない。

目 次

I はじめに	1
II 点検・評価について	2
III 重点取組	3
IV 御前崎市教育委員会自己点検及び評価	8
・5-1-1 スクラムによる園・学校・家庭・地域の教育力の向上	8
・5-1-2 地域ぐるみで取り組む青少年健全育成の推進	11
・5-2-1 御前崎を愛し知・徳・体の調和のとれた生き抜くための 資質・能力の育成	16
・5-2-2 主体的な遊びを通して人として生きていく力の基礎の育成	22
・5-2-3 安全で充実した教育環境の整備	26
・5-2-4 安全で魅力ある学校給食の提供と食育・地産地消の推進	28
・5-3-1 楽しく学び積極的に参加できる生涯学習の推進	30
・5-3-2 郷土の誇りである文化財の保存と活用	34
・5-3-3 市民とともに考えともに歩む図書館づくり	36
・3-6-1 生涯を通じた体づくり	38
V 2019年度教育委員会の活動	40
VI 総合評価	41

I はじめに

御前崎市教育委員会では、第2次御前崎市総合計画の基本目標「郷土を愛し 未来を創る 人づくり」に基づき、毎年度発行している「スクラム御前崎」の中で、教育の基本目標と主要施策を明確に示すとともに、施策の実現に努めてまいりました。

2007年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号。以下「地方教育行政法」という。）が改正され、この改正の大きな柱の一つである「教育委員会の責任体制の明確化」の方策として、同法第26条により、教育行政の効果的推進及び市民への説明責任を果たすべく、「教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行う」ことが義務付けられたところであります。

このことを受けて御前崎市教育委員会では、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について自己点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成して議会に提出するとともに、市民への公表を行ってまいりました。

本報告書は、2019年度御前崎市教育委員会の活動及び「スクラム御前崎」で示した重点取組の実現のため点検及び評価を行い、その客観性を確保するため、学識経験者4名から所見をいただくとともに、第三者的立場から常葉大学教育学部教授の堀井啓幸氏にも外部評価をしていただき、ここに報告書として取りまとめたものであります。

市民の感覚、視点を持って点検・評価を行うことは、今日の課題や今後の取組方針が明確になる点において、大変意義のあるものと思います。

今後も「郷土を愛し 未来を創る 人づくり」を基本目標として、園、学校、地域、行政がスクラムを組み、それぞれの施策を推進してまいる所存です。

2020年3月

御前崎市教育委員会

教 育 長 河原崎 全

Ⅱ 点検・評価について

1. 趣 旨

御前崎市教育委員会は、地方教育行政法第26条の規定に基づき、毎年、その権限に属する主要な施策や事務事業の取組状況について、政策効果を把握し、その必要性・効率性等の観点から、自ら点検及び評価を行い、課題や取組の方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、この点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、市議会に提出するとともに一般に公表することにより、市民に対する説明責任を果たし、信頼される教育行政を推進しようとするものです。

2. 点検・評価の対象

点検及び評価は、2019年度「スクラム御前崎」に沿って、今年度における教育委員会の主要な施策・事業を対象として実施いたしました。このため、スクラム御前崎P1の「重点取組」として掲げた14の施策とそれに伴う事業について評価を行っています。

3. 点検・評価の方法

点検及び評価の実施にあたっては、2019年度の事業について、その進捗状況を総括するとともに、内部評価を行うことにより課題や今後の取組みの方向性を明らかにし、その結果を外部評価として、元幼稚園長 増田 喜巳子 氏、元中学校長 杉浦 尚志 氏、元教育委員 紅林 幸枝 氏、前中学校長 松林 義樹 氏、の御意見や、常葉大学教育学部教授 堀井 啓幸 氏に総合評価を頂くことにより、教育に関する学識経験者の知見活用に努めました。

4. 点検・評価の表し方

点検及び評価については、今年度執行予定の事業を、今年度3月末までにどれだけ実行できたかを「執行度」として0～100%で表しました。また、その事業自体の「妥当性」「効果性」「効率性」をそれぞれ、1「非常に低い」、2「低い」、3「どちらともいえない」、4「高い」、5「非常に高い」の5段階で表しました。「妥当性」とは、「第2次御前崎市総合計画 2016～2025」に掲げた目標達成のために、その事業自体がどれほど妥当かを評価しています。「効果性」とは、実際に事業を進めた結果、得た効果について評価しています。「効率性」とは、コスト面・人員面において費用対効果がどれほどかを評価しています。

Ⅲ 重点取組

今回教育委員会の自己点検・評価についての報告書をまとめるにあたり、2019年度重点取組として掲げた目標に対する評価をまとめました。

◎点検・評価について ○妥当性 5・・・非常に高い " 4・・・高い " 3・・・どちらともいえない " 2・・・低い " 1・・・非常に低い ○効果性・効率性も上記に準じて評価しています。	◎今後の方向について ①継続 ②完了 ③拡大 ④縮小 ⑤転換 ⑥中止
---	--

1. スクラムで人づくりに取り組みます

(1) 心身ともにたくましい子どもの育成

今年度の施策については概ね進めることができた。新体力テストの分析による取り組みについては方針を決定したい。各事業の効果や進め方も適しているといえるため、すでに完了した事業等の見直しをかけながら、継続してさらなる推進を目指す。

	執行度	事業の妥当性	効果性	効率性(コスト)	効率性(人員)	今後の方向
市独自の学力調査の実施	100	5	4	4	4	拡大
スクラム研究会	90	5	4	5	5	継続
スクラムゼミナール	90	5	5	4	5	継続
人間関係プログラム学習等の推進	100	5	5	5	5	完了
小中高生の海外研修※	100	5	5	4	3	継続
スクラムグッドマナー運動の推進	80	5	4	5	4	継続
平均	93.3	5	4.5	4.5	4.3	

※企画政策課評価

(2) 市の特色を生かしたエネルギー教育と海洋スポーツ体験の実施

各学校浜岡発電所の見学を実施し、小学校に太陽光パネルが設置されたことによって、更なるエネルギー教育の推進が期待できる。今年度の施策については概ね進めることができ、効果は非常に高かったが、中学校のエネルギー教育の内容やそのほかの施策の進め方について検討をしながら継続していきたい。

	執行度	事業の妥当性	効果性	効率性(コスト)	効率性(人員)	今後の方向
エネルギー教育の推進	80	5	5	4	3	継続
太陽光発電設備の整備とエネルギー教育への活用	90	4	4	5	4	継続
小学生海洋体験活動	100	5	5	3	3	継続
平均	90	4.7	4.7	4	3.3	

(3)生活習慣(学習習慣)の定着

今年度の施策については概ね進めることができ、「早寝早起き朝ご飯」の推進と新たにネット依存の抑制に取り組むことができた。各事業の効果や進め方も適しているといえるため、すでに完了した事業等の見直しをかけながら、継続してさらなる推進を目指す。

	執行度	事業の 妥当性	効果性	効率性 (コスト)	効率性 (人員)	今後の 方向
スクラムスクール運営協議会	90	5	5	4	3	継続
学校支援地域本部	90	5	5	4	4	継続
平均	90	5	5	4	3.5	

(4)読書・読み聞かせの推進

アスパルを核として、読書活動や読み聞かせの推進ができています。今年度の目標については概ね達成できた。事業の効果性は高いので、さらに学校図書館連絡会の内容などについて検討をし、継続していきたい。

	執行度	事業の 妥当性	効果性	効率性 (コスト)	効率性 (人員)	今後の 方向
学校における読書活動の推進	80	4	4	4	4	拡大
園の読書環境の整備	95	4	4	3	3	継続
市立図書館の充実した資料収集	100	4	4	3	3	継続
読み聞かせなどのボランティアとの協働	100	4	4	4	4	継続
平均	93.8	4	4	3.5	3.5	

(5)市民に支えられた教育行政の推進

市のホームページのフォーマットの制限の中で見やすいホームページの作成に苦慮している。工事の状況等を公表するなど新しい試みも行ったが、今年度の目標に対し、達成度に課題があるのも事実である。より効果の高い事業を効率よく進めるため、方法を検討し、継続していきたい。

	執行度	事業の 妥当性	効果性	効率性 (コスト)	効率性 (人員)	今後の 方向
ホームページなどによる広報活動の充実	70	4	4	5	3	継続
総合教育会議・移動教育委員会の実施	80	4	3	4	4	継続
平均	75	4	3.5	4.5	3.5	

2 学びの場の充実と円滑な接続を目指します

(1) 基礎学力の向上と得意分野の伸長

今年度の施策については概ね進めることができたが基礎学力が向上したかは確信できるものとはいえない。事業の効果も高いと思うので、今後も継続し、経年比較をしていきたい。

	執行度	事業の 妥当性	効果性	効率性 (コスト)	効率性 (人員)	今後の 方向
市独自の学力調査の実施	100	5	4	4	4	拡大
スクラム研究会	90	5	4	5	5	継続
スクラムゼミナール	90	5	5	4	5	継続
学習支援員等の配置	100	5	5	4	5	継続
平均	95	5	4.5	4.3	4.8	

(2) 乳幼児の保育・教育の充実と円滑な幼小接続

今年度の目標に対する施策をほぼ進めることができた。事業の効果も高かった。今後も園と学校をつなぐ支援を充実させ、作製した冊子を有効活用し滑らかな接続を目指す。

	執行度	事業の 妥当性	効果性	効率性 (コスト)	効率性 (人員)	今後の 方向
自発的な遊びや体験を充実させる環境作り	80	5	4	4	4	継続
スタートアップカリキュラム冊子の作成	100	5	4	4	4	継続
平均	90	5	4	4	4	

(3) 情報教育の推進

ICT環境の整備と併せて教員のスキルアップを図る必要があることから、ハード面とソフト面を連携させて事業推進する必要がある。

	執行度	事業の 妥当性	効果性	効率性 (コスト)	効率性 (人員)	今後の 方向
教育の情報化の推進	80	4	3	3	3	継続
普通教室でのICT教育の推進	80	5	4	3	3	継続
ICT支援員の配置	70	5	4	3	4	継続
平均	76.7	4.7	3.7	3	3.3	

3. より豊かな人生を過ごす支援をします

(1) 生きがいや潤いをもたらす文化・スポーツの振興

今年度の目標については達成し、様々な年代の市民に対し、文化やスポーツに触れる機会を作ることができた。しかし、効率性に課題があるため、事業の必要性や進め方を精査し、文化・スポーツの振興を図りたい。

	執行度	事業の 妥当性	効果性	効率性 (コスト)	効率性 (人員)	今後の 方向
生涯学習の基盤・拠点となる公民館の整備	100	5	5	5	4	継続
社会教育学級活動への支援	100	4	4	3	3	転換
市文化祭の開催	100	4	4	3	4	継続
市民スポーツ大会「エンジョイスポーツ御前崎」の開催	100	4	3	2	2	中止
怪スポーツ教室・大会の開催	100	4	4	4	3	継続
平均	100	4.2	4	3.4	3.2	

4 課題への対応を推進します

(1) 命を大切に教育への取組

各園・各校の着実な取組によって大きな事件・事故なく、子どもたちが安全安心に生活できた。防災教育については地域に任せている面が多い。地区で活躍できる小中学生の育成ができる仕組みを整え、さらなる推進を目指す。

	執行度	事業の 妥当性	効果性	効率性 (コスト)	効率性 (人員)	今後の 方向
防災教育の推進	50	5	3	3	3	拡大

(2) 家庭教育の充実

各施策を進めることはできたが、親として高い意識を持たせたい保護者へのアプローチに課題がある。様々な方法を検討し、効果を高めながら継続して推進していく。

	執行度	事業の 妥当性	効果性	効率性 (コスト)	効率性 (人員)	今後の 方向
家庭教育支援員の配置	100	4	4	4	4	継続
家庭教育学級への支援	100	4	4	3	3	転換
スタートアップカリキュラム冊子の作成	100	5	4	4	4	継続
平均	100	4.3	4	3.7	3.7	

(3) 公民館の地区センター(仮称)移行の推進

地区センターへの移行の準備を進めることができた。生涯学習講座によって学びを通したつながりづくりを進めていきたい。

	執行度	事業の 妥当性	効果性	効率性 (コスト)	効率性 (人員)	今後の 方向
公民館の地区センター化の推進	100	5	5	4	5	転換

(4) 学校教育施設・社会教育施設の整備

今年度の目標について多くの事業で達成し、安全で充実した教育環境の整備を進めることができた。また、その効果も高い。しかし、効率面には課題があるので事業の進め方を検討しながら、さらなる推進を目指す。

	執行度	事業の 妥当性	効果性	効率性 (コスト)	効率性 (人員)	今後の 方向
安全安心な教育環境の向上	100	5	5	4	3	転換
浜岡中学校校舎の改築	100	5	5	4	3	継続
新給食センターの建設	100	5	5	3	3	継続
老朽化する学校施設・設備の適正な維持管理	65	4	4	3	3	継続
市民会館・文化会館等の整備・改修	100	5	4	3	3	継続
体育施設の整備・改修	100	5	4	3	3	継続
平均	94.2	4.8	4.5	3.3	3	

(5) 乳幼児教育の長期計画の検討

職員確保については、対策を進めているが、解消には至っていない。引き続き人材確保に努めたい。2020年度以降の幼稚園・保育園・こども園の運営計画を作成した。今後はその計画に沿って展開していく。

	執行度	事業の 妥当性	効果性	効率性 (コスト)	効率性 (人員)	今後の 方向
今後の園の運営計画の策定	80	5	4	4	4	継続
園職員の確保	60	5	4	4	4	継続
平均	70	5	4	4	4	

IV 御前崎市教育委員会の自己点検及び評価

重点取組の点検・評価した施策についての具体的な事業を自己点検評価シートにまとめました。

◎点検・評価について	◎今後の方向について
○妥当性 5・・・非常に高い	①継続
〃 4・・・高い	②完了
〃 3・・・どちらともいえない	③拡大
〃 2・・・低い	④縮小
〃 1・・・非常に低い	⑤転換
○効果性・効率性も上記に準じて評価しています。	⑥中止

5-1-1 スクラムによる園・学校・家庭・地域の教育力の向上

事業	項目	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向
スクラムスクール運営協議会(学校教育課)	5 ・ 1 ・ 1	90%	事業の妥当性	5	<p>①継続</p> <p>「早寝早起き朝ごはん」「ゲーム障害・ネット依存」について、少しずつではあるが、改善が図られてきた。委員の数も多く立場も様々な方たちなので結論を出すことが難しいが、今後も今の形で継続しさらに成果を上げていきたい。</p>
			効果性	5	
			効率性(コスト)	4	
			効率性(人員)	3	
学校支援地域本部[地域学校協働本部](学校教育課)	5 ・ 1 ・ 1	90%	事業の妥当性	5	<p>①継続</p> <p>ボランティア登録者の高齢化と人材不足が課題である。今後は、中高生ボランティアの拡大を広め、園・小・中学校のニーズを調査していき、派遣につなげていく。</p>
			効果性	5	
			効率性(コスト)	4	
			効率性(人員)	4	
スクラムカレンダーの作成(学校教育課)	5 ・ 1 ・ 1	100%	事業の妥当性	5	<p>①継続</p> <p>次年度以降作成者の声を聴きながら、2021年度については、事業の見直しを図っていく必要がある。</p>
			効果性	5	
			効率性(コスト)	4	
			効率性(人員)	4	

事業	項目	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向
シニアスクール (学校教育課)	5 ・ 1 ・ 1	100%	事業の 妥当性	5	<p>定員がそれぞれ30人のところ浜岡北小が32人、白羽小が37人の応募があり、年間それぞれ8講座を実施した。受講者の95%以上が大変満足であったと答えた。</p> <p>また、学校も開かれた教育課程の実現につながり、地域と共にある学校づくりの推進につながった。</p> <p>①継続</p> <p>参加者、学校の要望があり今後も同規模で継続していきたい。</p>
			効果性	5	
			効率性 (コスト)	5	
			効率性 (人員)	5	
ホームページ などによる広報活動の充実 (教育総務課・ 学校教育課・ 社会教育課)	5 ・ 1 ・ 1	70%	事業の 妥当性	4	<p>浜岡中学校校舎改築について工事の進捗状況を広報おまえざきとホームページに掲載し、市内外から情報を得られるよう広報した。</p> <p>教育委員会定例会・臨時会の会議録やスクラムスクール運営協議会の活動、全国学力・学習状況調査の結果を公表するなど、市の教育についての情報発信に努めた。</p> <p>また、スクラムグッドマナー運動のチラシとポスターを中学生が各企業等に配付したり、御前崎市大産業まつりで広報活動を行ったりした。本市スクラムスクール運営協議会のホームページを見て、県外からの視察が2件あった。</p> <p>①継続</p> <p>今後も随時、情報をホームページ等で発信し、市民の理解や協力を得られるよう、努める。</p> <p>園・学校の特色ある活動について取材依頼を新聞やテレビ等のメディアへの発信を積極的にしていく。</p>
			効果性	4	
			効率性 (コスト)	5	
			効率性 (人員)	3	
総合教育会議・移動教育 委員会の実施 (教育総務課)	5 ・ 1 ・ 1	80%	事業の 妥当性	4	<p>総合教育会議を1回開催した。「令和元年度 全国学力学習状況調査について」課題等を共有しながら、市長部局と教育委員会で意見交換をすることができた。</p> <p>移動教育委員会を1回開催した。「教員の負担軽減するには」をテーマに教育委員と教務主任で話し合い、教育現場の現状、課題を把握することができた。</p> <p>①継続</p> <p>議論で明確になった課題を施策に活かすよう、市長部局や小中学校・園との具体的対策を実施する。</p>
			効果性	3	
			効率性 (コスト)	4	
			効率性 (人員)	4	

事業	項目	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向
防災教育の推進 (学校教育課)	5 ・ 1 ・ 1	50%	事業の 妥当性	5	<p>昨年度園から中学校まで統一した防災マニュアルを作成し、市内で共通して取り組んでいる。防災教育については各小中学校へ、地区防災訓練については各地区に任せた形になっている。</p> <p>③拡大</p> <p>スクラムスクール運営協議会において防災について取り上げ、地区で活躍できる中学生(小学生)の育成を図る仕組みを整えていきたい。</p>
			効果性	3	
			効率性 (コスト)	3	
			効率性 (人員)	3	
キャリア教育の充実 (学校教育課)	5 ・ 1 ・ 1	90%	事業の 妥当性	5	<p>CSディレクターによって2018年度に両中学校のキャリア教育の体制が整った。職業講座の実施により、地元の様々な職業人に触れ、生徒の夢や希望を広げている。小学校にも様々な方たちがゲストティーチャーとして招かれ、その方たちの思いや願いに触れ、望ましい職業観の育成に繋がっている。</p> <p>③拡大</p> <p>職業体験や職業講座など開かれた教育課程を実現していくためにも、体験日数や講座人数など増やし、積極的に地域の方たちとかかわりを深めたい。</p>
			効果性	4	
			効率性 (コスト)	4	
			効率性 (人員)	4	

5-1-2 地域ぐるみで取り組む青少年健全育成の推進

事業	項目	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向
市青少年健全育成会議・地区推進委員会の開催 (社会教育課)	5 1 2	100%	事業の 妥当性	4	<p>地域、学校、行政がスクラムを組み、市の青少年育成会議を開催し、地域の青少年を取り巻く現状について情報共有した。なお、各地区の地区推進委員主導で青少年健全育成懇談会を開催した。</p> <p>①継続</p> <p>出席者が役員のみという場合が多く、市民への広がり課題である。今後は、地域との連携強化に取り組み市民への情報共有を図っていきたい。</p>
			効果性	3	
			効率性 (コスト)	4	
			効率性 (人員)	3	
サポート隊 (社会教育課)	5 1 2	100%	事業の 妥当性	5	<p>地域で子どもたちを守り育てる運動の一環として、1,122人のサポート隊員によって登下校時の見守りと声かけを地域全体で行なった。不審者情報は年間5件と昨年度より減少し、事件等につながった事例はなく、活動の効果は高い。</p> <p>①継続</p> <p>今後も地域との連携を続け、サポート隊を中心とした地域で子供を守り育てる運動を継続し、子どもの安全を守る。</p>
			効果性	4	
			効率性 (コスト)	5	
			効率性 (人員)	4	
こども110番の家 (社会教育課)	5 1 2	100%	事業の 妥当性	5	<p>市内小学校PTAが中心となって、学区内の商店等に参加の継続・新規登録を確認し、本年度も453軒の登録をいただいている。</p> <p>また、「こども110番の家」のプレートや旗を目印としていつでも子どもたちが助けを求められる体制をとっているが、子どもが駆け込んだという事例は現在報告されていない。</p> <p>⑤転換</p> <p>「こども110番の家」のプレートや旗は屋外へ設置するため1年で劣化してしまう。特にプレートは1枚単価にコストがかかるため、ポスターやチラシ等へ変更していく。</p>
			効果性	4	
			効率性 (コスト)	4	
			効率性 (人員)	4	
声かけ運動 (社会教育課)	5 1 2	100%	事業の 妥当性	4	<p>県が実施している「地域の青少年声掛け運動」に協調し、参加者を募っている。本年度新たに178人の新規参加者を迎え、累計登録者は、4,988人となった。市独自のサポート隊とほぼ同じメンバーとなっているので年間を通して運動を行っている。</p> <p>①継続</p> <p>組織的な運動ではなく、個人的な活動のため、日々の活動を地域と共有し運動を盛り上げる取り組みを行っていく。</p>
			効果性	3	
			効率性 (コスト)	4	
			効率性 (人員)	4	

事業	項目	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向
青少年補導員活動 (社会教育課)	5 1 2	100%	事業の妥当性	4	<p>各町内会から推薦された計33名で青少年補導活動を行っている。夏・冬期の県下一斉青少年補導を主に、みなと夏祭り・成人式・中学校卒業式においても補導活動や啓発活動を行っている。また、青少年補導員は各町内会においても地区祭典等で補導活動を実践している。</p> <p>①継続</p> <p>現状、青少年のネット等でのつながりが主となり、街頭での補導活動につながるような案件が減っている。そのようなことから、補導員としてのあり方や活動を再検討する必要がある。</p>
			効果性	4	
			効率性(コスト)	3	
			効率性(人員)	3	
情報モラル学習の推進 (学校教育課)	5 1 2	80%	事業の妥当性	5	<p>ICT支援員による支援もあり、各校で情報モラルに関する授業が行われている。また、ICT支援員による児童・保護者に対する講演も行われた。さらに、ネットパトロールを依頼している会社による講演は全校で行われている。前年度末に行った、全校児童・生徒対象にしたネットアンケートの結果を受けて、教職員にも情報モラル学習の意識が高まっている。</p> <p>①継続</p> <p>スクラムスクール運営協議会で取り組んでいる「ネット依存やゲーム障害」から子どもを守る活動を推進する取組を実行していく。ICT支援員の勤務日数の増加が課題である。</p>
			効果性	5	
			効率性(コスト)	3	
			効率性(人員)	5	
「青少年の未来をつむぐ集い」の開催 (社会教育課)	5 1 2	100%	事業の妥当性	3	<p>今年度は、従来の内容を変更し、中学生による「わたしの主張」作文の発表、ゲーム障害・ネット依存から子ども(家庭)を守る講演会を実施した。案内チラシ等で周知を図ったが、約200人の参加者であった。内容が充実していたので、多くの参加者を集めたかった。</p> <p>①継続</p> <p>他の行事との重なりも考慮して日程調整をしたい。会の目的やテーマ等を再検討し、今後の取組を検討する。</p>
			効果性	3	
			効率性(コスト)	4	
			効率性(人員)	3	
成人式の開催 (社会教育課)	5 1 2	100%	事業の妥当性	5	<p>今年度対象となる新成人は現存者318名、転出者かつ市内中学校卒業生57名、計375名となっている。うち出席者は290名。記念品を図書券から袱紗に変更したり、電子申請を用いた出欠方法を取り入れたりするなど新たな試みを行った。</p> <p>⑤転換</p> <p>今後の成人式式典について、成人者を取り巻く環境の変化に注視しつつ、行政(学校)及び地域等との関わり方について常に検証見直しを実施する。</p>
			効果性	4	
			効率性(コスト)	4	
			効率性(人員)	4	

事業	項目	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向								
小・中連携体験事業「御前崎クエスト」(社会教育課)	5 1 2	100%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>3</td> </tr> </table>	事業の妥当性	5	効果性	5	効率性(コスト)	5	効率性(人員)	3	今年度は小学生の部40名、中学生以上の部4名で活動を実施。8月は伊豆市で計26名の参加者でキャンプを実施することができた。小学生の部は想定以上の応募があった一方で、中学生以上の部は応募が振るわなかった。また、小学生の保護者から協力したいという意見があり、保護者からも高い評価を受けていると考える。	③拡大 今年度キャンプを実施できたことや保護者からの事業としての信頼を獲得してきているため、今後更なる需要の高まりが期待される。キャンプの実施方式の変更など、多くの参加者を受け入れる体制の検討が必要である。
事業の妥当性	5												
効果性	5												
効率性(コスト)	5												
効率性(人員)	3												
灯台村塾(学校教育課)	5 1 2	100%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>5</td> </tr> </table>	事業の妥当性	5	効果性	5	効率性(コスト)	5	効率性(人員)	5	夏期休業中に、小学生を対象に「ぼうけん発電村」「パステルアート村」「手づくり絵本村」「木工工作村」「エプロンキッズ村」の5つの講座を開講した。各講座は、中部電力や建築業者などの地元の企業や健康づくり課等他課の協力を得て開催された。昨年度好評だった講座に加え、児童に人気の料理の講座も開催され、台風の影響で実施できない講座もあったが、103人の児童が参加した。学校では体験できない多様な活動が展開され、99%以上の参加者が「たいへんよかった」「よかった」と答えている。	⑥中止 今年度で10回目を迎え、児童に日頃体験できない活動や学びの機会を提供するという目的は果たされてきている。 来年度は、オリンピックの開催時期と重なるため休止し、令和3年度から再実施する。
事業の妥当性	5												
効果性	5												
効率性(コスト)	5												
効率性(人員)	5												
親子工作教室(社会教育課)	5 1 2	100%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>4</td> </tr> </table>	事業の妥当性	4	効果性	4	効率性(コスト)	5	効率性(人員)	4	26家族60名の小学生親子の参加があった。今年度で36回目を迎えた歴史ある教室であり、木のぬくもりを親子で体験できる貴重な場となっている。 また、市内木材業者から資材の提供を受け、地元大工業者13名が指導者として全面協力していただいている。例年親子ですばらしい作品が出来、毎年参加している親子も多数いる。	①継続 2018・2019年度は学校教育課の「灯台村塾」として実施したが、次年度からは従来の社会教育課事業として継続していく。
事業の妥当性	4												
効果性	4												
効率性(コスト)	5												
効率性(人員)	4												

※小中高生の海外研修については市長部局の事業につき、教育委員会の自己点検・評価は行わない。

事業	項目	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向
家庭教育支援員の配置 (社会教育課)	5 1 2	100%	事業の妥当性	4	<p>家庭教育支援員として、幼稚園教諭や保育士OBを中心に7人委嘱。家庭教育について支援が必要な共働き世帯への支援する場として「だれでも食堂もぐもぐ」を開催した。今年度は民間団体加多世とマツイ学園が主体で実施している。また、今秋から新規事業として、子育て家庭(親)への支援・相談の機会(場)づくりとなるよう、親子対象に「あそび塾」を開催提供している。</p> <p>①継続</p> <p>今後も実施団体が 増えるよう取り組みの 周知等を実施する。 また、今回の新規事 業を継続するためにも、 人員や内容について 検討していく必要が ある。</p>
			効果性	4	
			効率性 (コスト)	4	
			効率性 (人員)	4	
家庭教育学級への支援 (社会教育課)	5 1 2	100%	事業の妥当性	4	<p>今年度は市内幼保こども園、市内小中学校にて14学級が開設し、活動を行っている。しかし、支援金業務においては学級長及び各担当職員内での支出方法における認識の食い違いが顕著にみられ、今後の資金援助の方法を見直しが必要である。</p> <p>⑤転換</p> <p>現在の資金援助の 方式を支援金から補 助金形式に変更し、 書面における手続き の複雑さの改善、学 級長である保護者と 各幼保こども園学校 担当者との業務の引 継ぎ連携を改善する 必要がある。</p>
			効果性	4	
			効率性 (コスト)	3	
			効率性 (人員)	3	
家庭教育の推進 (学校教育課)	5 1 2	50%	事業の妥当性	3	<p>「早寝早起き朝ごはん」の推進をスクラムスクール運営協議会で進めている。朝ごはんの摂取率は年々上昇してきているが、この協議会の推進力を事業として十分に展開できなかった。今後も引き続いて運営協議会の中で、この取り組みを推進するとともに多様な事業展開を図り、各家庭の教育力向上につなげていきたいと考えている。</p> <p>⑤転換</p> <p>スクラムスクール運 営協議会の取組に 含め、成果を検証し ていく。</p>
			効果性	4	
			効率性 (コスト)	4	
			効率性 (人員)	4	

事業	項目	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向								
スタートアップ カリキュラム冊子 の作成 (学校教育課)	5 1 2	100%	<table border="1"> <tr> <td>事業の 妥当性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>4</td> </tr> </table>	事業の 妥当性	4	効果性	4	効率性 (コスト)	3	効率性 (人員)	4	<p>先進的に幼小接続の取り組みを進めている横浜市の小学校に研修に行き情報収集できたことで進めていくべきことがわかった。園の保育の実態と学校の学習の実態を比較し、スクラムで積み上げてきた教育観に一貫性があることは今後の取り組みに反映しやすくてつなげやすい。園と学校とのつながりを丁寧に行い、就学を目の前にした保護者の安心につながるパンフレットを作成した。年度内に年長懇談会や入学説明会に出向き説明しながら配布する。</p>	<p>2020年度から小学校における学習指導要領全面実施に向け、小学校職員の各校における研修が必要になってくる。 就学する児童、また保護者が安心して学習できる場を選び、滑らかに接続していくためには、園と学校をつなぐ支援が必要である。冊子の配布だけでなく相談についても充実させていきたい。</p> <p>①継続</p>
事業の 妥当性	4												
効果性	4												
効率性 (コスト)	3												
効率性 (人員)	4												
スクラムグッド マナー運動の 推進 (学校教育課・ 社会教育課)	5 1 2	100%	<table border="1"> <tr> <td>事業の 妥当性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>4</td> </tr> </table>	事業の 妥当性	5	効果性	4	効率性 (コスト)	5	効率性 (人員)	4	<p>毎月10日に行われるスクラムグッドマナー運動は、各園・学校で工夫された挨拶運動が行われた。中学生が啓発ポスターの掲示を地元事業所へ依頼したり、大産業祭でクリアファイルを配布したりして広報をした。中部電力社員の協力を得て、より活発になってきている。気持ちの良い挨拶が交わせる児童生徒を目指し、児童会や生徒会でも働きかけるように各校へ呼びかけていく。 社会教育課では、今年度も引き続きスクラムグッドマナー運動の啓発のため、Tシャツ販売を基に可視化した運動への賛同を意思表示できるよう実施している。今年度の販売数は120枚とやや少ない数となっているが、一般市民や市内小学校に通う児童にも購入していただいている。</p>	<p>子どもたちがより挨拶へ意欲的に取り組めるよう学校に働きかけていく。 本運動推進への一つの契機として、賛同者スクラム啓発のためTシャツ販売を続けていきたい。</p> <p>①継続</p>
事業の 妥当性	5												
効果性	4												
効率性 (コスト)	5												
効率性 (人員)	4												

5-2-1 御前崎を愛し知・徳・体の調和のとれた生き抜くための資質・能力の育成

事業	項目	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向
市独自の学力調査の実施 (学校教育課)	5 ・ 2 ・ 1	100%	事業の 妥当性	5	<p>③拡大</p> <p>中学校1・2年生にも拡大し、経年比較ができるようにする。</p>
			効果性	4	
			効率性 (コスト)	4	
			効率性 (人員)	4	
スクラム研究会 (学校教育課)	5 ・ 2 ・ 1	90%	事業の 妥当性	5	<p>①継続</p> <p>来年度は小学校で、再来年度は中学校で新学習指導要領の全面実施となる。そのため、小中学校の職員が一同に会して、新学習指導要領の目指す教育観を共有する場を設ける。具体的には大学教授による師範授業及び講話を予定している。</p>
			効果性	4	
			効率性 (コスト)	5	
			効率性 (人員)	5	
スクラムゼミナール (学校教育課)	5 ・ 2 ・ 1	90%	事業の 妥当性	5	<p>①継続</p> <p>年々、各校の奈須教授への依頼内容が変化し、各校の実態やニーズに合った研修の機会となっている。今後も、継続していき、さらに各校の授業改善を進めていく。</p>
			効果性	5	
			効率性 (コスト)	4	
			効率性 (人員)	5	
スクラム全体講座・スクラム分散講座 (学校教育課)	5 ・ 2 ・ 1	100%	事業の 妥当性	5	<p>①継続</p> <p>教職員が興味深く聞くことができ、市が目指す教育観を共有できるような講師や内容を検討し継続する。教員の授業改善に対する意識は向上しつつあるが、新学習指導要領に対応した授業実践をさらに進める必要があるため、来年度はスクラム研と合わせた開催を検討したい。</p>
			効果性	5	
			効率性 (コスト)	5	
			効率性 (人員)	5	

事業	項目	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向
教職員対象各研修会 (学校教育課)	5 ・ 2 ・ 1	90%	事業の 妥当性	5	<p>教職員のキャリアステージや分掌に応じた各種研修会を年間計画に位置付け、実施した。教頭研では、大学における教育改革や業務能率向上研修を行い、100%近い満足度であった。それぞれの立場の市内の教員が情報交換できる機会でもあり、共有された研修内容を各校で広め、深化させることで、「スクラム御前崎」の浸透が図られるように実施してきた。</p> <p>①継続</p> <p>教員等育成指標に基づき、新学習指導要領の実施に向け、経験及び職務別に求められる資質能力の育成が図れるようさらに内容を充実させていく。各種研修会実施における目標を明確にし、目標を達成するための手立てや達成状況を学校教育課内で共有していく。</p>
			効果性	5	
			効率性 (コスト)	5	
			効率性 (人員)	4	
人間関係プログラム学習等の推進 (学校教育課)	5 ・ 2 ・ 1	100%	事業の 妥当性	5	<p>静岡県教委が発行した人間関係づくりプログラム冊子の改編委員長の東京聖栄大学岡田弘教授を招き、浜岡中学校で模擬授業や講話を実施した。人間関係づくりが苦手な子どもにとって、また、そういった子どもと接する教員にとって、実際に授業を通して生の指導を見ることができ、大変有益であった。</p> <p>②完了</p> <p>人間関係づくりプログラムについては、各学校のカリキュラムに取り入れられて、各学校に合ったかたちで独自に行われている。市のねらいは果たされて、学校主体の活動となっているため、市の施策としては完了とする。</p>
			効果性	5	
			効率性 (コスト)	5	
			効率性 (人員)	3	
外国語指導助手(ALT)及び英語活動指導員の配置 (学校教育課)	5 ・ 2 ・ 1	85%	事業の 妥当性	5	<p>ALT2人と英語活動指導員、英語専科をそれぞれ1人ずつ小学校に派遣し、2020年度完全実施となる外国語活動への対応を図った。さらに担任の指導力の向上を図る必要がある。</p> <p>③拡大</p> <p>英語専科を1人追加する。 担任の英語力や指導力を向上させる必要がある。</p>
			効果性	5	
			効率性 (コスト)	4	
			効率性 (人員)	4	
普通教室でのICT教育の促進 (教育総務課)	5 ・ 2 ・ 1	80%	事業の 妥当性	5	<p>全小中学校に導入された児童生徒用のタブレット端末とデジタル教科書を組み合わせたICT機器を活用した授業を促進し、子どもたちの情報活用能力を育成することができた。</p> <p>①継続</p> <p>現場でのICT活用を推進し、利用状況に応じたパソコンの整備やICT機器の導入を図る。</p>
			効果性	4	
			効率性 (コスト)	3	
			効率性 (人員)	3	

事業	項目	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向	
ICT支援員の配置 (学校教育課)	5 ・ 2 ・ 1	70%	事業の 妥当性	5	ICT支援員の全校配置となつてから2年目となる。各校職員が担当するICT推進委員の重点目標として、昨年度は「ICT機器活用に関する環境整備」、今年度はそれに加え「プログラミング教育実施の準備」を掲げて取り組んだ。全面的なバックアップを支援員が行ったため、2つの目標が達成できている。	①継続 授業支援や校務支援が主な活動となっているが、今後、職員の働き方改革が推進されるようなICT支援員の活用を行っていききたい。
		効果性	4			
		効率性 (コスト)	3			
		効率性 (人員)	4			
【再掲】 情報モラル学習の推進 (学校教育課)	5 ・ 2 ・ 1	80%	事業の 妥当性	5	ICT支援員による支援もあり、各校で情報モラルに関する授業が行われている。また、ICT支援員による児童・保護者に対する講演も行われた。さらに、ネットパトロールを依頼している会社による講演は全校で行われている。前年度末に行った、全校児童・生徒を対象にしたネットアンケートの結果を受けて、教職員にも情報モラル学習の意識が高まっている。	①継続 スクラムスクール運営協議会で取り組んでいる「ネット依存やゲーム障害」から子どもを守る活動を推進する取組を実行していく。ICT支援員の勤務日数の増加が課題である。
		効果性	5			
		効率性 (コスト)	3			
		効率性 (人員)	5			
エネルギー教育の推進 (学校教育課)	5 ・ 2 ・ 1	80%	事業の 妥当性	5	小学校6年生全員が、浜岡原子力発電所の見学をし、原子力発電のしくみや安全対策の様子を中部電力職員から説明を受けた。また、12月から理科の授業で各発電のしくみを中電職員をゲストティーチャーに迎え学習した。中学校3年生は2月に各発電のメリット・デメリットを理科の時間に、2030年の電源構成を考え、今後のエネルギーについて多面的多角的に考察する授業を社会科で実施した。	①継続 電源立地市の市民としてエネルギーについて自ら考え判断する力を身につけるためにも継続をしていきたい。
		効果性	5			
		効率性 (コスト)	4			
		効率性 (人員)	3			
太陽光発電設備の整備とエネルギー教育への活用 (教育総務課)	5 ・ 2 ・ 1	90%	事業の 妥当性	4	国のエネルギー構造高度化・転換理解促進事業を利用して、2019年度は、第一小学校、浜岡北小学校に太陽光発電設備・蓄電池を設置した。施設のエネルギーコスト軽減を図るとともに、児童へのエネルギー教育の推進が図れた。	①継続 小学校への太陽光パネルの整備が完了した。今後はこの施設を利用したエネルギー教育のカリキュラムの確立を行う。
		効果性	4			
		効率性 (コスト)	5			
		効率性 (人員)	4			

事業	項目	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向		
【再掲】 灯台村塾 (学校教育課)	5 ・ 2 ・ 1	100%	事業の 妥当性	5	<p>夏期休業中に、小学生を対象に「ぼうけん発電村」「パステルアート村」「手づくり絵本村」「木工工作村」「エプロンキッズ村」の5つの講座を開講した。各講座は、中部電力や建築業者などの地元の企業や健康づくり課等他課の協力を得て開催された。昨年度好評だった講座に加え、児童に人気の料理の講座も開催され、台風の影響で実施できない講座もあったが、103人の児童が参加した。学校では体験できない多様な活動が展開され、99%以上の参加者が「たいへんよかった」「よかった」と答えている。</p>	⑥中止	<p>今年度で10回目を迎え、児童に日頃体験できない活動や学びの機会を提供するという目的は果たされてきている。 来年度は、オリンピックの開催時期と重なるため休止し、令和3年度から再実施する。</p>
		効果性	5				
		効率性 (コスト)	5				
		効率性 (人員)	5				
【再掲】 親子工作教室 (社会教育課)	5 ・ 1 ・ 2	100%	事業の 妥当性	4	<p>26家族60名の小学生親子の参加があった。今年度で36回目を迎えた歴史ある教室であり、木のぬくもりを親子で体験できる貴重な場となっている。 また、市内木材業者から資材の提供を受け、地元大工業者13名が指導者として全面協力していただいている。例年親子ですばらしい作品が出来、毎年参加している親子も多数いる。</p>	①継続	<p>2018、2019年度は学校教育課の「灯台村塾」として実施したが、次年度からは従来の社会教育課事業として継続していく。</p>
		効果性	4				
		効率性 (コスト)	5				
		効率性 (人員)	4				
【再掲】 シニアスクール (学校教育課)	5 ・ 2 ・ 1	100%	事業の 妥当性	5	<p>定員がそれぞれ30人のところ浜岡北小が32人、白羽小が37人の応募があり、年間それぞれ8講座を実施した。受講者の95%以上が大変満足であったと答えた。 また、学校も開かれた教育課程の実現につながり、地域と共にある学校づくりの推進につながった。</p>	①継続	<p>参加者、学校の要望があり今後も同規模で継続していきたい。</p>
		効果性	5				
		効率性 (コスト)	5				
		効率性 (人員)	5				
学校における 読書活動の推進 (学校教育課)	5 ・ 2 ・ 1	80%	事業の 妥当性	4	<p>学校図書館司書を1人増やし、3人が分担して全小中学校を巡回した。図書館担当連絡会を年2回開催し、担当者とし司書の連携を強化した。これにより子どもたちが本と関われるように環境を整えたり取組を行ったりする工夫が見られた。しかし学校によって読書量に差がある。</p>	③拡大	<p>学校図書館連絡会では時間を十分取り、各校での実践例を参考に子どもたちの読書量を増やすようにしたい。</p>
		効果性	4				
		効率性 (コスト)	4				
		効率性 (人員)	4				

事業	項目	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向		
市立図書館と学校図書館との連携 (図書館・学校教育課)	5 ・ 2 ・ 1	90%	事業の 妥当性	5	<p>年に一度市立図書館が主体となって各校と連携の取り方を話し合う場を設けている。</p> <p>また、年2回の学校図書館連絡会を通じ、取り組みや課題などについて司書教諭や学校図書館司書との共通認識を持つことができた。しかし、担任や学校によって利用の温度差があるのが課題である。</p> <p>またテーマ貸出や団体貸出により、各学校の授業への相互連携を行うことができた。</p>	③拡大	<p>学校図書館連絡会等を活用し、引き続き市立図書館と学校図書館相互の連携を図る。</p> <p>先生方に呼び掛けて授業での調べ学習の場として市立図書館を活用するなど、本と楽しむ場を設定しながら読書活動を推進していく。</p>
		効果性	4				
		効率性 (コスト)	5				
		効率性 (人員)	5				
小学生海洋体験活動 (社会教育課)	5 ・ 2 ・ 1	100%	事業の 妥当性	5	<p>御前崎マリンスポーツクラブに委託し、市内全小学校を対象として教室を開催することができた。内容についても海洋スポーツの実施とともに御前崎市の海の特徴やライフジャケットの重要性等の学習の要素を取り込み、地域特性のある事業を実施できた。</p>	①継続	<p>地域特性の高い事業として、今後も継続していきたい。</p>
		効果性	5				
		効率性 (コスト)	3				
		効率性 (人員)	3				
「しおかぜ先生」の配置 (学校教育課)	5 ・ 2 ・ 1	80%	事業の 妥当性	5	<p>学力向上対策のため白羽小・浜岡中に1名ずつ、不登校減少のため浜岡中に1名、市費負担教員を配置した。浜岡中の不登校は昨年に比べ10名減少している。また、しおかぜ先生の指導員として学力向上コンサルタントを1名配置し、しおかぜ先生や若手教員の授業力向上を図っている。</p>	①継続	<p>学力向上と不登校削減が図られる取り組みを学校で研究させ、成果を上げることで配置人数の増加につなげたい。</p>
		効果性	5				
		効率性 (コスト)	3				
		効率性 (人員)	4				
学習支援員等の配置 (学校教育課)	5 ・ 2 ・ 1	100%	事業の 妥当性	5	<p>特別支援学級を中心に学習支援員を市内6校に24人、養護教諭支援員を2名(浜岡中・第一小)を配置した。今年度初めて配置換えを行い、7年以上同一校に勤務している支援員を異動し、刷新を図った。入学当初の1年生や保健室への来室児童生徒へのきめ細かな対応が可能となり、学校の落ち着いた学習環境づくりにつながっている。</p>	①継続	<p>年々、通常学級における特別支援を要する児童生徒も増加傾向にあり、学習支援員の必要性が高まっている。来年度、会計年度任用職員への移行があり、勤務形態を見直し、より有用性が増す配置ができるようにする。</p>
		効果性	5				
		効率性 (コスト)	4				
		効率性 (人員)	5				

事業	項目	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向	
巡回相談、教育相談 (学校教育課)	5 ・ 2 ・ 1	90%	事業の 妥当性	5	<p>巡回相談では園や学校のニーズに合わせて効果的な相談ができた。</p> <p>教育相談では、7月は定員以上の応募があり、次回に回すなど対処した。相談員からの報告書が1か月以上遅れ、園や学校へすぐに情報が伝われば効果があったと思われる内容がうまく伝わらなかったことがあったので改善したい。</p>	<p>④縮小</p> <p>園や学校での必要に応じた巡回相談ができるように各園・学校から希望を取る。</p> <p>教育相談も時期によって件数が少ないことがあったので時期や回数を見直したい。</p>
		効果性	4			
		効率性 (コスト)	4			
		効率性 (人員)	5			
就学支援委員会、個性伸長教育専門家チーム会議 (学校教育課)	5 ・ 2 ・ 1	90%	事業の 妥当性	4	<p>就学支援委員会の開催時期は適切で県の専門調査への申請との兼ね合いがよかった。しかし、保護者の希望する時期が遅れ、手続きが難しい場合があったので、年間を見通して計画的に支援していきたい。</p> <p>専門家チーム会議は学校と園で1回ずつと通級の判定を行った。行事と重なり、本当に見てほしい子を見てもらえなかったり、希望が少なかったりしたので改善したい。</p>	<p>④縮小</p> <p>年度初めのコーディネーター研修会で就学支援に係る提出書類の書き方や年間の見通しをしっかりと伝えることで適切な支援ができるようにする。</p> <p>専門家チーム会議も年3回から2回に減らし、学校や園のニーズに合わせて行いたい。</p>
		効果性	4			
		効率性 (コスト)	3			
		効率性 (人員)	4			
適応指導教室「サンルーム」 (学校教育課)	5 ・ 2 ・ 1	80%	事業の 妥当性	5	<p>本年度は、前年度所属していた児童生徒が全員卒業したため、0人からのスタートであったが、11月現在で小学生4名、中学生10名の入級となっている。小学生・中学生ともに週1回程度、チャレンジ登校を行ったり、学習や集団での遊びを行ったりする中で、社会的な自立を目指している。</p>	<p>①継続</p> <p>学校との連携を密にし、不登校児童・生徒宅への家庭訪問等、アウトリーチも積極的に行っていく。</p>
		効果性	5			
		効率性 (コスト)	4			
		効率性 (人員)	4			
いじめ問題対策連絡協議会 (学校教育課)	5 ・ 2 ・ 1	60%	事業の 妥当性	5	<p>いじめ防止対策推進法の規定に基づき、御前崎市いじめ問題対策連絡協議会等設置条例を制定し、御前崎市いじめ問題対策連絡協議会が設置されている。</p> <p>警察・主任児童委員・小中学校生徒指導担当が委員を務め、いじめの防止等に必要な事項を協議するとともに、連携調整を図っている。</p>	<p>①継続</p> <p>条例にも謳われているいじめ専門委員会の委員の選出、依頼、委嘱・任命を行い、必要があるときには委員会が開催できるように準備をする。</p>
		効果性	4			
		効率性 (コスト)	3			
		効率性 (人員)	4			

5-2-2 主体的な遊びを通して人として生きていく力の基礎の育成

事業	項目	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向									
自発的な遊びや体験を充実させる環境作り(学校教育課)	5 ┆ 2 ┆ 2	80%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>4</td> </tr> </table>	事業の妥当性	5	効果性	4	効率性(コスト)	4	効率性(人員)	4	『遊び込む子』の具体的な姿の実現に向けて、可能性・多様性のある材の取り入れや、自発的な取り組みを促す物的、人的な環境の構成・援助に重点を置いた保育の工夫に継続して取り組んでいる。乳児においても、一人一人の思いや発達の様子に丁寧に寄り添いながら、温かな愛着関係を育むとともに自発的な遊びや生活が出来るような工夫や努力が見られた。	①継続	個および集団での遊びの継続や発展が促されるよう、遊びの振り返りや言葉による思いの伝え合いを意図的に充実させる。また、遊びの中に見られる学びの価値づけにさらなる工夫が必要である。保育者の資質向上を図る研修を充実させていく。
事業の妥当性	5													
効果性	4													
効率性(コスト)	4													
効率性(人員)	4													
園の読書環境の整備(学校教育課)	5 ┆ 2 ┆ 2	95%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>3</td> </tr> </table>	事業の妥当性	4	効果性	4	効率性(コスト)	3	効率性(人員)	3	園の担任や図書館職員、読み聞かせボランティアによる読み聞かせを行い、園児の本に親しむ環境づくりができた。また、毎週の絵本の貸出等は定着している。 また、家庭での読み聞かせを園便り等で推奨したり、保護者対象の読み聞かせ講座を行ったりすることで、園だけでなく家庭での読書の大切さを認識させることができた。今後は家庭で親子がふれあいながらの読み聞かせが習慣化できるよう啓発していきたい。	③拡大	家庭での読み聞かせを更に推進できるよう工夫していく。 幼少期から本(読書)の楽しさを学ぶことは大変重要であるため、園の読書環境を引き続き充実させていく。
事業の妥当性	4													
効果性	4													
効率性(コスト)	3													
効率性(人員)	3													
地域の教育力を生かした保育の推進(学校教育課)	5 ┆ 2 ┆ 2	80%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>4</td> </tr> </table>	事業の妥当性	4	効果性	4	効率性(コスト)	4	効率性(人員)	4	行事や栽培活動等に地域の人をゲストティーチャーとして招いたり、グッドマナー挨拶運動に地域の人を巻き込んで取り組んだり、様々な人の力を借りて、地域の自然や行事にふれたり体験したりできている。早寝・早起き・朝ごはんのPRなどスクラムでの取組によって、朝食摂取への意識が高まった。今年度よりネット依存・ゲーム障害への取組も始めた。 地域子育て支援センターの充実によって、遊びの場の提供は勿論のこと、保護者同士の交流の場や子育て相談の場としても機能し保護者の心の拠り所になってきている。活用が増加傾向にあり、スムーズな入園や園への理解にもつながっている。	①継続	地域との活動について、各園の指導計画と照らし合わせ見直しを図り、精選していく必要がある。ネグレクト、虐待、DVなどの問題を抱えている家庭もあり、保護者へは細やかで粘り強い対応を引き続き行う。こども未来課と連携して家庭の教育力の低下に対応していきたい。
事業の妥当性	4													
効果性	4													
効率性(コスト)	4													
効率性(人員)	4													

事業	項目	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向		
教諭・保育士 対象各種研修会 (学校教育課)	5 ┆ 2 ┆ 2	80%	事業の 妥当性	4	遊び込む子を追求し、スクラム研、歳児別研、園内研等の公開保育を通して遊び込むための環境や援助についての研修を重ね充実してきた。専門的な視点からの指導をいただくため、外部講師に継続的な指導を依頼し、職員の資質向上、また遊びの充実にもつながってきているので、引き続き取り組んでいきたい。経験年数に応じたそれぞれの悩みも増えてきている課題がある。	①継続	若手保育士の割合も増加傾向にあるので、外部講師を招聘する公開保育の研修だけでなく、実技研修なども工夫して計画していく。各園での園内研修の日常化を目指し、働き方の改善も考えながら職員のニーズに応じた効率的な研修方法を考えていく必要がある。
			効果性	4			
			効率性 (コスト)	4			
			効率性 (人員)	4			
【再掲】 家庭教育の推進 (学校教育課)	5 ┆ 2 ┆ 2	50%	事業の 妥当性	3	「早寝早起き朝ごはん」の推進をスクラムスクール運営協議会で進めている。朝ごはんの摂取率は年々上昇してきているので、今後も運営協議会の中で、この取り組みを推進し、各家庭の教育力向上につなげていきたいと考えている。	⑤転換	スクラムスクール運営協議会の取組に含め、成果を検証していく。
			効果性	4			
			効率性 (コスト)	4			
			効率性 (人員)	4			
【再掲】 スタートアップ カリキュラム冊子の作成 (学校教育課)	5 ┆ 2 ┆ 2	100%	事業の 妥当性	4	先進的に幼小接続の取り組みを進めている横浜市の小学校に研修に行き情報収集できたことで進めていくべきことがわかった。園の保育の実態と学校の学習の実態を比較し、スクラムで積み上げてきた教育観に一貫性があることは今後の取り組みに反映しやすくなげやすい。園と学校とのつながりを丁寧に行い、就学を目の前にした保護者の安心につながるパンフレットを作成した。年度内に年長懇談会や入学説明会に出向き説明しながら配布する。	①継続	2020年度から小学校における学習指導要領全面実施に向け、小学校職員の各校における研修が必要になってくる。就学する児童、また保護者が安心して学習できる場を選び、滑らかに接続していくためには、園と学校をつなぐ支援が必要である。冊子の配布だけでなく相談についても充実させていきたい。
			効果性	4			
			効率性 (コスト)	3			
			効率性 (人員)	4			
地域子育て支援センターの 充実 (こども未来課)	5 ┆ 2 ┆ 2	100%	事業の 妥当性	5	未就園の子どもとその保護者が安心して利用できるような環境、人的整備がなされている。室内開放についてはセンターごとに日数、時間帯が異なるものの、高松保育園で運営している支援センター利用が学区を越えて利用可能のため市全体としては充実してきている。	⑤転換	今年度末の浜岡保育園から仮称やまもも保育園(民間園)への移行や待機児童対策のための保育士確保に伴い、「びよびよ」を一旦休止する。「さくらんぼ」と「たけのこ」においては園の子育て支援機能として、これまで同様の支援内容で継続して運営を行っていく。
			効果性	4			
			効率性 (コスト)	4			
			効率性 (人員)	5			

事業	項目	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向		
【再掲】 巡回相談、教育相談 (学校教育課)	5 + 2 + 2	90%	事業の 妥当性	5	<p>巡回相談では園や学校のニーズに合わせて効果的な相談ができた。</p> <p>教育相談では、7月は定員以上の応募があり、次回に回すなど対処した。相談員からの報告書が1か月以上遅れ、園や学校へすぐに情報が伝われば効果があったと思われる内容がうまく伝わらなかったことがあったので改善したい。</p>	④縮小	<p>園や学校での必要に応じた巡回相談ができるように各園・学校から希望を取る。</p> <p>教育相談も時期によって件数が少ないことがあったので時期や回数を見直したい。</p>
		効果性	4				
		効率性 (コスト)	4				
		効率性 (人員)	5				
すこやか相談 (こども未来課)	5 + 2 + 2	100%	事業の 妥当性	5	<p>就学に向け、子どもの発達の理解と、保護者支援、個に応じた支援方法の提案など様々な視点から子どもの実態を把握し情報共有を図ることができた。すこやか相談をきっかけに療育教室へつながるケースも多く、療育が必要な子どもの早期発見にもつながっている。就学支援のための見立て、保護者への働きかけなど園への支援はさらに必要である。</p>	⑤転換	<p>この事業によって、就学への働きかけが充実した。しかし、人員とそれにかかるコスト、時間、関係者の日程調整の手間を考えると、やり方を工夫していく必要がある。日々の保育活動や園訪問から早期発見に努め、今よりもさらに丁寧に支援していく方法を考え別の形で継続していく。</p>
		効果性	4				
		効率性 (コスト)	3				
		効率性 (人員)	3				
個性伸長支援 員の配置 (学校教育課)	5 + 2 + 2	90%	事業の 妥当性	5	<p>個別の支援を要する子が増加傾向にあり、歳児ごとに支援員を1名配置できている。支援を要する子が1クラスに複数いたり、2・3号認定園児の増加で、長時間児や乳児への支援もさらに必要となってきたが、保育士不足の現状も重なり、そこまでは行き届いていない状態である。保育士の確保が緊急の課題である。</p>	①継続	<p>支援員の配置の必要性は高い。保育の無償化スタートに伴い、幼稚園でも預かり保育拡大となり長時間園で過ごす子どもが増えている。子育て経験者を有資格保育者の保育補助として配置するなど、体制について考えていく必要がある。</p>
		効果性	5				
		効率性 (コスト)	4				
		効率性 (人員)	4				

事業	項目	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向
療育機関による出前型療育の推進 (学校教育課・こども未来課)	5 2 2	90%	事業の妥当性	5	<p>⑤転換</p> <p>早期療育に対する保護者への理解や啓発は引き続き、粘り強く努力していきたい。 出前型療育の方法については園職員の負担も考えると、特別支援コーディネーターの育成や療育指導員の園訪問型支援の充実に力を入れ、園での支援の底上げを図っていきたい。</p>
			効果性	5	
			効率性(コスト)	4	
			効率性(人員)	5	
今後の園の運営計画の策定 (学校教育課・こども未来課)	5 2 2	80%	事業の妥当性	5	<p>①継続</p> <p>保育希望者が増加する中、保育の必要性に応じて適切な場所に入園できる、きめの細かい調整方法も考える必要がある。</p>
			効果性	4	
			効率性(コスト)	4	
			効率性(人員)	4	
園職員の確保 (学校教育課・総務課・こども未来課)	5 2 2	60%	事業の妥当性	5	<p>①継続</p> <p>引き続き、人材確保機関への登録や情報発信を継続する。現在園職員全体が中堅職員不足の状態にあるため、組織的に負担感の軽減を図る取り組みや保育者の待遇改善が必要である。</p>
			効果性	4	
			効率性(コスト)	4	
			効率性(人員)	4	

5-2-3 安全で充実した教育環境の整備

事業	項目	執行度	点 検 ・ (評 価)			今後の方向	
安全安心な教育環境の向上 (教育総務課)	5 ┆ 2 ┆ 3	100%	事業の 妥当性	5	市内全普通教室へのエアコン の設置を行い、快適で学びやす い教育環境の整備ができた。	⑤転換	特別教室のエアコン 整備を計画的に 行っていく。
			効果性	5			
			効率性 (コスト)	4			
			効率性 (人員)	3			
浜岡中学校校舎の改築 (教育総務課)	5 ┆ 2 ┆ 3	100%	事業の 妥当性	5	建築後62年が経過し、老朽化 が著しい浜岡中学校の校舎改築 工事を進め、今年度設計が完了 した。また、旧校舎の解体工事が 終了した。 本年度から仮設校舎の使用を 始め、新校舎は2021年3月共用 開始を目指す。	①継続	2021年2月の校舎 引渡しに向けて、引 続き建築工事を進め ていく。利便性を高 める改善の検討を進 める。
			効果性	5			
			効率性 (コスト)	4			
			効率性 (人員)	3			
新給食セン ターの建設 (教育総務課)	5 ┆ 2 ┆ 3	100%	事業の 妥当性	5	御前崎、浜岡両学校給食セン ターを統合した新学校給食セン ター建設を進め2021年9月共用 開始を目指す。 今年度設計及び造成工事が完了 した。	①継続	ランニングコストを 縮減できる施設の実 現を目指す。
			効果性	5			
			効率性 (コスト)	3			
			効率性 (人員)	3			
老朽化する学 校施設・設備 の適正な維持 管理 (教育総務課)	5 ┆ 2 ┆ 3	65%	事業の 妥当性	4	対処的修繕から長寿命化計画 に則した対応へ転換できるよう に、中学校の長寿命化計画基礎 調査及び計画の策定を行った。	①継続	実施計画の策定を 行い、計画的な改修 を行う。
			効果性	4			
			効率性 (コスト)	3			
			効率性 (人員)	3			

事業	項目	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向
【再掲】 太陽光発電設備の整備とエネルギー教育への活用 (教育総務課)	5 ・ 2 ・ 3	90%	事業の 妥当性	4	<p>国のエネルギー構造高度化・転換理解促進事業を利用して、2019年度は、第一小学校、浜岡北小学校に太陽光発電設備・蓄電池を設置した。施設のエネルギーコスト軽減を図るとともに、児童へのエネルギー教育の推進が図れた。</p> <p>①継続</p> <p>児童・生徒のエネルギーに対する知識・理解を深めるため、今後も、太陽光発電設備等を教材として活用していく。</p>
			効果性	4	
			効率性 (コスト)	5	
			効率性 (人員)	4	
教育の情報化の推進 (教育総務課)	5 ・ 2 ・ 3	80%	事業の 妥当性	4	<p>データの一元管理や自動化による校務支援システムの更新・バージョンアップを進め、事務処理にかかる校務負担を軽減できた。教育ネットワークを活かした情報の有効活用、教材の共有化による充実した学習支援につながっているとまでは言えない。</p> <p>①継続</p> <p>教育ネットワークが構築され、機器を有効活用することで教材等の共有化を進める。</p>
			効果性	3	
			効率性 (コスト)	3	
			効率性 (人員)	3	
【再掲】 普通教室でのICT教育の促進 (教育総務課)	5 ・ 2 ・ 3	80%	事業の 妥当性	5	<p>全小中学校に導入された児童生徒用のタブレット端末とデジタル教科書を組み合わせたICT機器を活用した授業を促進するための機器の整備ができた。</p> <p>①継続</p> <p>今後も、求められるICT環境の整備に努める。それに伴う機器の選定については、ICT推進委員会で教職員の意見を聞き、実態に即した機器選定を行う。電子黒板の導入については、浜岡中学校導入後の状況等を考察し、展開していく。</p>
			効果性	4	
			効率性 (コスト)	3	
			効率性 (人員)	3	
老朽化した情報機器の適切な更新 (教育総務課)	5 ・ 2 ・ 3	100%	事業の 妥当性	4	<p>教職員用パソコン、小学校のパソコン教室用パソコンの更新は、整備計画に基づき、安全で充実した教育環境の整備につながった。また指名競争入札の実施により、当初予算より大幅なコスト削減ができた。</p> <p>①継続</p> <p>適正な利用をするためには、定期的なサポートが必要となることから、保守点検の充実を、定期更新が必要となる。</p>
			効果性	4	
			効率性 (コスト)	4	
			効率性 (人員)	3	

5-2-4 安全で魅力ある学校給食の提供と食育・地産地消の推進

事業	項目	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向
食育指導の推進 (学校給食共同調理場)	5 ↓ 2 ↓ 4	100%	事業の妥当性	4	<p>食育指導の推進では、小学校2校の1・4年生の児童・保護者、中学校1校では1年生の生徒を対象とした栄養講座を行った。また、栄養教諭が給食試食会後の保護者会に参加し、食育の推進をすることができた。更に、全小学校6年生のテーブルマナー指導、4年生の生活習慣病予防講座、学校保健委員会での講話、家庭科や総合的な学習への参画等で指導を行った。</p> <p>また、全小学校の1年から6年生の学級活動に講師として参加、または給食前15分指導を実施した。給食中の様子を見に行くことで、残食の減少、食物の好き嫌いを減らすなど、子どもたちに食の意識が高まった。</p> <p>小学生を対象とした学校給食センター施設見学を通じ、『食』への関心を深めることができた。</p>
			効果性	4	
			効率性(コスト)	4	
			効率性(人員)	4	
地産地消の推進 (学校給食共同調理場)	5 ↓ 2 ↓ 4	75%	事業の妥当性	4	<p>給食食材の購入にあたり、地産地消を推進した。</p> <p>県内産品目の使用割合は、41.6%、その内13.5%は地元産品目として活用した。</p>
			効果性	4	
			効率性(コスト)	3	
			効率性(人員)	3	
安心安全、おいしい給食の提供 (学校給食共同調理場)	5 ↓ 2 ↓ 4	90%	事業の妥当性	4	<p>安心安全な給食の提供を確実にを行うため、毎日衛生管理責任者である栄養教諭が調理員の代表者と打ち合わせをし、衛生管理、調理・配送等の作業工程に対し指導を行った。</p> <p>また、給食を取り扱う者には毎月2回の保菌検査、調理員・センター職員に対し、ノロウイルス検査を実施して衛生管理に努めた。</p> <p>異物混入防止のため、食材の納入から調理・配送に至るまで、安全管理の徹底を図った。</p>
			効果性	4	
			効率性(コスト)	4	
			効率性(人員)	4	

事業	項目	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向
アレルギー対応 (学校給食共同調理場)	5 + 2 + 4	100%	事業の 妥当性	4	<p>アレルギーの対応について、事故防止のチェック体制として、センター所長、園長、校長が行う検査とともに、当日のアレルギー食の確認、記録簿への記入等を検査者に依頼した。更に、食物アレルギー対応カードを用いて、栄養教諭、調理員、配送、園・学校の受取担当者及び担任の6段階によるチェック体制によりアレルギー事故防止に努めた。</p> <p>①継続</p> <p>食物アレルギーの症状を訴える子どもの数及び品目数が、年々増加傾向にある。 現在、センターでは保護者からの申し出により可能なものについてアレルギー対応食を提供してきたが、年々厳しい状況となっているため、近隣市町の対応と合わせる方向を検討する。</p>
			効果性	4	
			効率性 (コスト)	4	
			効率性 (人員)	2	
給食費未納者の解消 (教育総務課)	5 + 2 + 4	80%	事業の 妥当性	5	<p>2019年10月分までの現年度児童生徒分収納率が、98.88%となった。過年度分の収納率は11月現在で10.23%だが、完納者が4名と、これまで未納分に対する納入実績がなかった保護者2名からの分納があった。 過年度滞納に対する督促、特に市外や県外へ転出している保護者への効果が高いとはいえない状況である。</p> <p>①継続</p> <p>2020年度からは、保護者が御前崎市民の場合、給食費を市が負担する計画のため、徴収金額がかなり減少する。前年度までの未納解消のために法的措置を実施する。</p>
			効果性	3	
			効率性 (コスト)	2	
			効率性 (人員)	3	
【再掲】 新給食センターの建設 (教育総務課)	5 + 2 + 4	100%	事業の 妥当性	5	<p>御前崎、浜岡両学校給食センターを統合した新学校給食センター建設を進め2021年9月共用開始を目指す。 今年度設計及び造成工事が完了した。</p> <p>①継続</p> <p>ランニングコストを縮減できる施設の実現を目指す。</p>
			効果性	5	
			効率性 (コスト)	3	
			効率性 (人員)	3	

5-3-1 楽しく学び積極的に参加できる生涯学習の推進

事業	項目	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向
生涯学習の基盤・拠点となる公民館の整備 (社会教育課)	5 ・ 3 ・ 1	100%	事業の妥当性	5	<p>一部の公民館では老朽化が進み、修繕が必要な箇所が増加しているが、予算の範囲内で対応している状況である。昨年度、劣化診断を実施し、今年度は修繕計画を策定した。</p> <p>①継続</p> <p>誰もが安心して利用できる施設として、計画的な修繕・工事の実施に努めていく。 ※2020年度より公民館が地区センターとなり、所管が市長部局となる。</p>
			効果性	5	
			効率性(コスト)	5	
			効率性(人員)	4	
公民館の地区センター化の推進 (社会教育課)	5 ・ 3 ・ 1	100%	事業の妥当性	5	<p>2020年4月から公民館の地区センター化に向け取り組みを進めた。企画政策課主導で「地区センター運営協議会」を中心とした組織づくりを進め、教育委員会では、各種講座を一覧にしわかりやすく周知するよう取り組みを進めた。</p> <p>⑤転換</p> <p>地区センター化後も、生涯学習講座については社会教育課で担当し、学びを通じたつながりづくりを進める。講座は1つのパンフレットにとりまとめ周知するよう取り組む。</p>
			効果性	5	
			効率性(コスト)	4	
			効率性(人員)	5	
社会教育学級活動への支援 (社会教育課)	5 ・ 3 ・ 1	100%	事業の妥当性	4	<p>今年度は、市内にて活動する学習団体22学級が開設し、活動を行っている。しかし、支援金業務においては学級長や団体会計管理者の支出方法における認識の違いが顕著にみられ、今後の資金援助方法の見直しをする必要がある。</p> <p>⑤転換</p> <p>現在の資金援助の方式を支援金から補助金形式に変更し、書面における手続きの複雑さの改善、支払方法の説明も認識の齟齬が生じないようわかりやすい説明を実施する。</p>
			効果性	4	
			効率性(コスト)	3	
			効率性(人員)	3	
生涯学習情報の発信 (社会教育課)	5 ・ 3 ・ 1	100%	事業の妥当性	4	<p>ケーブルテレビや公民館だより、町内会回覧を利用し広報を行った。</p> <p>①継続</p> <p>市民の公民館活動や生涯学習への参加意欲の高揚を図るため、今後は各種講座情報を整理し1冊のパンフレットにとりまとめ、情報発信を行っていく。</p>
			効果性	5	
			効率性(コスト)	4	
			効率性(人員)	4	

事業	項目	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向		
文化・芸術にふれる機会の提供 (社会教育課)	5 ・ 3 ・ 1	100%	事業の妥当性	3	<p>静岡県巡回劇場として市内小学5・6年生を対象に落語の公演を行った。近年は器楽等の音楽プログラムが続いていたため、新たに日本古来の文化にふれる機会も提供した。</p> <p>また、清川芸術館においては、GW、お盆休み等臨時開館を行い、集客に努めた。</p> <p>丸尾記念館では、四季に合わせたイベントの提供ができた。</p>	⑥中止	<p>今年度をもって、静岡県巡回劇場への参加を終了する。今後は県の文化振興事業等を活用して、各学校が主体となって児童への文化・芸術にふれる機会の提供を行っていく。また、清川芸術館、丸尾記念館共に広く市民に関心を持ってもらえるよう運営方針の検討が必要である。</p>
		効果性	3				
		効率性(コスト)	3				
		効率性(人員)	4				
図書館での展示や講演会など文化事業の開催 (図書館)	5 ・ 3 ・ 1	100%	事業の妥当性	4	<p>展示ギャラリーや視聴覚室を利用し様々な展示を行った。また舞台俳優による朗読公演や浜岡吹奏楽団ミニコンサートなどを開催し、市民に対して文化・芸術にふれる機会を提供することができた。</p>	①継続	<p>図書館において文化事業を開催することは市民の興味を惹き、ひいては図書館の利用に繋がるため、今後も市内外へホームページ等での周知により利用促進を図る。さらに読み聞かせボランティア団体と連携して本と触れ合う機会を提供していく。</p>
		効果性	4				
		効率性(コスト)	3				
		効率性(人員)	3				
市文化祭の開催 (社会教育課)	5 ・ 3 ・ 1	100%	事業の妥当性	4	<p>市文化協会と連携し、小・中学校音楽発表会を皮切りに、さまざまな文化活動を披露する文化祭を開催した。今年度は、芸能部門で初めて参加する団体が2団体、展示部門で3団体あり、幅広い発表が行われた。延べ来場者数も昨年度比26%(533人)増と、多くの市民に参加してもらうことができた。</p>	①継続	<p>今年度をもって小中学校音楽発表会を終了した。そのため、文化祭の年齢制限を撤廃して子どもの発表機会を維持しつつ、芸能部門・展示部門共に、一般参加者が継続して参加してもらえるような体制を作り、市内の文化交流をさらに図れるように努めたい。</p>
		効果性	4				
		効率性(コスト)	3				
		効率性(人員)	4				
伝統文化親子教室 (社会教育課)	5 ・ 3 ・ 1	100%	事業の妥当性	4	<p>丸尾記念館で伝統文化親子教室を開催し、小中学生やその親を中心に市民へ芸術文化活動の場を提供することができた。</p>	①継続	<p>伝統文化親子教室事業参加の児童を増やすため、更なる周知を行っていきたい。</p>
		効果性	4				
		効率性(コスト)	4				
		効率性(人員)	4				

事業	項目	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向
映画上映 (社会教育課)	5 ・ 3 ・ 1	0%	事業の 妥当性	4	<p>優れた映画の鑑賞の機会を提供するため、振興公社と連携して準備した。今年度は故石原裕次郎等人気俳優が出演する作品を含め、日本映画の名作4作品を上映する予定であったが、新型コロナウイルス肺炎拡大防止のため急遽中止した。</p> <p>①継続</p> <p>年配の方を中心に人気のある事業であり、次年度も継続して実施していく。</p>
			効果性	-	
			効率性 (コスト)	-	
			効率性 (人員)	-	
クリスマスコンサート (社会教育課)	5 ・ 3 ・ 1	100%	事業の 妥当性	3	<p>29回目の開催となり、毎年市民に定着した事業となっており、音楽の普及・振興に寄与している。このクリスマスコンサートは文化協会に所属しているブラスアルファが主管して企画や運営を行っている。</p> <p>⑥中止</p> <p>同じ文化協会に所属する浜岡吹奏楽団が独自にクリスマスコンサートを実施していることなどから、今年度をもって市主催のクリスマスコンサートは終了する。今後はブラスアルファにおいても浜岡吹奏楽団のように自主的にクリスマスコンサートが開催できるよう協議していく。</p>
			効果性	4	
			効率性 (コスト)	3	
			効率性 (人員)	3	
「文芸おまえざき第16号」の 発刊 (社会教育課)	5 ・ 3 ・ 1	100%	事業の 妥当性	4	<p>市民77人から106作品の応募があり、投稿者数が5人増加し市民の文芸に対する関心を高めることができた。市内在住者だけでなく、市内出身で他市在住の方からの投稿もあり、多くの方から関心をもたれている。</p> <p>①継続</p> <p>市民の方の創作の発表の場となっているが、投稿者が固定化されている。今後は新規投稿者を増加させていくためにも文芸おまえざきの周知を図っていく。</p>
			効果性	3	
			効率性 (コスト)	3	
			効率性 (人員)	3	
御前崎市振興 公社との連携 (社会教育課)	5 ・ 3 ・ 1	100%	事業の 妥当性	4	<p>指定管理者による絵画教室や書き方教室、夏休みちよこっとアート講座、人形劇「弥次さん喜多さんトンちんカン珍道中」、宝くじ文化公演「ナプア・グレイグwithハワイアン・フラ・ダンサーズ」など様々な文化芸術に親しむ機会を提供し、多くの市民の参加があり、文化振興を図ることができた。今後も、市民ニーズにあった事業展開に努めていく。</p> <p>①継続</p> <p>指定管理者として、引き続き文化及びスポーツの振興への寄与を期待する。</p>
			効果性	4	
			効率性 (コスト)	4	
			効率性 (人員)	3	

事業	項目	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向	
市民会館・文化会館等の整備・改修 (社会教育課)	5 ・ 3 ・ 1	100%	事業の 妥当性	5	各文化施設の施設・機器とも老朽化してきており、予算の範囲内で修繕工事を実施している。	①継続 来年度は文化施設の劣化状況調査を実施し、各施設の状況を把握するとともに、修繕計画策定の基礎資料収集を行う。
			効果性	4		
			効率性 (コスト)	3		
			効率性 (人員)	3		
体育施設の整備・改修 (社会教育課)	5 ・ 3 ・ 1	100%	事業の 妥当性	5	各体育施設の施設・機器とも老朽化が進み、更新及び修繕が必要な箇所が増加している。計画的に予算の範囲内で修繕工事を実施している状況である。	①継続 施設利用者が安心して利用できる施設として、補助金の確保を併せ、計画的な更新・修繕工事の実施に努めていく。 また、費用対効果を検証しながら施設の継続、統合についても検討していく必要がある。
			効果性	4		
			効率性 (コスト)	3		
			効率性 (人員)	3		

5-3-2 郷土の誇りである文化財の保存と活用

事業	項目	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向	
アカウミガメの保護活動 (社会教育課)	5 + 3 + 2	100%	事業の妥当性	4	<p>1972年から開始したウミガメ保護監視活動を地道に行うことにより、本年度は1,092頭の子ガメのふ化を確認できた。例年に比べ上陸数・産卵数ともに低い結果であった。主な産卵地である下岬海岸については、砂浜の流木及び漂着ごみの撤去を行い、環境の保護に努めた。今後も御前崎市で産卵ができるよう、保護活動の充実と砂浜の環境保全に努めていく。</p>	<p>①継続</p> <p>2年続けて上陸産卵頭数・産卵個数・ふ化頭数が著しく減少した。御前崎のウミガメとその産卵地を保護していくためにも、流木及び漂着ごみの撤去など御前崎の海岸で産卵された卵のふ化率を増加させていく取組が必要である。</p>
		効果性	4			
		効率性(コスト)	3			
		効率性(人員)	3			
白羽地区の風蝕礫産地保護 (社会教育課)	5 + 3 + 2	100%	事業の妥当性	4	<p>白羽の風蝕礫産地の指定地内に位置する市道に樹木の枝が張り出していることから、樹木剪定工事を実施した。これによって、通行の危険が無くなるとともに、指定地の景観についても改善された。</p>	<p>①継続</p> <p>指定地周辺に太陽光発電施設の建設が増え、指定当時の環境を維持することが困難になってきている。2018年度に調査を実施した結果、多くの風蝕礫が所在していることが判明したことから、風蝕礫産地の保存と活用を図るため、保存活用計画の策定に取り組んでいく。</p>
		効果性	4			
		効率性(コスト)	3			
		効率性(人員)	3			
文化財等の整理・保存事業 (社会教育課)	5 + 3 + 2	100%	事業の妥当性	4	<p>2名の非常勤職員によって、埋蔵文化財及び古文書や史料などの整理・保存を行った。埋蔵文化財の整理については、主に発掘調査で撮影した写真の再整理を実施した。</p> <p>古文書や史料の整理については、主に浜岡町史編さんなどで撮影した写真の整理を実施した。</p>	<p>④縮小</p> <p>古文書や史料の整理については、継続して実施する。しかし、埋蔵文化財の整理については、過去に行った発掘調査資料の整理の目的が果たしてきたことから、今年度をもって臨時職員の雇用を終了する予定である。</p>
		効果性	4			
		効率性(コスト)	3			
		効率性(人員)	3			
市文化財講座の開催 (社会教育課)	5 + 3 + 2	100%	事業の妥当性	4	<p>各地区の指定文化財や埋蔵文化財について学ぶことを目的として比木地区を主体として各地区の公民館と共催で開催した。2回講座の第1回目の中世城館の講演会については、比木公民館で開催した。第2回目の文化財めぐりは、昨年度雨天中止となった朝比奈地区も含め、比木・朝比奈地区の城跡と比木賀茂神社の社叢めぐりを開催した。</p>	<p>①継続</p> <p>来年度以降は公民館が地区センターとなるが、生涯学習講座の一環として、地区センターと共催で継続して実施していきたい。</p>
		効果性	4			
		効率性(コスト)	4			
		効率性(人員)	4			

事業	項目	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向	
埋蔵文化財出張授業・出土資料貸出 (社会教育課)	5 ・ 3 ・ 2	100%	事業の 妥当性	4	昨年度に引き続き、浜岡東小学校PTAから依頼があり、「東っ子まつり」参加者を対象とした勾玉づくり体験と昔の火起こし体験を実施した。勾玉づくり13名、昔の火起こし体験40名の合計53名の方が参加し、昨年(合計37名)より参加者が増加した。	①継続 その他の小学校等にも情報提供を行い、多くの学校から依頼が来るように改善していきたい。
			効果性	4		
			効率性 (コスト)	3		
			効率性 (人員)	3		
「文化財年報」の作成 (社会教育課)	5 ・ 3 ・ 2	0%	事業の 妥当性	4	前年度に開催した事業内容をまとめ、記録保存を図るとともに、市ホームページに掲載してデジタル配信を行い活用を図る予定であったが、業務多忙により年度内にホームページに掲載することができなかった。	①継続 文化財保護事業は、年度ごとに行っている業務内容が異なることから、今後も文化財年報の作成を継続して行ってきたい。
			効果性	-		
			効率性 (コスト)	-		
			効率性 (人員)	-		

5-3-3 市民とともに考えともに歩む図書館づくり

事業	項目	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向
市立図書館の充実した資料収集 (図書館)	5 ・ 3 ・ 3	100%	事業の妥当性	4	<p>調査・研究に必要な多種多様な資料、また市民に正確な情報を提供できる資料を収集することによって、市民が満足できる資料の充実を図ることができた。</p> <p>①継続</p> <p>市民の満足を得るために図書資料の充実には欠かせないことである。今後は図書館の資料保存の役割にも留意しながら、利用される資料の収集に努める。 また、職員間の選書方針の共通認識を深めて、職員の選書力の向上を図っていく。</p>
			効果性	4	
			効率性(コスト)	3	
			効率性(人員)	3	
【再掲】 図書館での展示や講演会など文化事業の開催 (図書館)	5 ・ 3 ・ 3	100%	事業の妥当性	4	<p>展示ギャラリーや視聴覚室を利用し様々な展示を行った。また舞台俳優による朗読公演や浜岡吹奏楽団ミニコンサートなどを開催し、市民に対して文化・芸術に触れる機会を提供することができた。</p> <p>①継続</p> <p>図書館において文化事業を開催することは市民の興味を惹き、ひいては図書館の利用に繋がるため、今後も市内外へホームページ等での周知により利用促進を図る。さらに読み聞かせボランティア団体と連携して本と触れ合う機会を提供していく。</p>
			効果性	4	
			効率性(コスト)	3	
			効率性(人員)	3	
読み聞かせなどのボランティアとの協働 (図書館)	5 ・ 3 ・ 3	100%	事業の妥当性	4	<p>読み聞かせボランティアグループの技術向上のため研修会及び交流会を開催した。読み聞かせボランティアだけでなく、日頃読み聞かせをしている園の先生方にも参加いただき、参加者全体のレベルアップに繋がった。</p> <p>①継続</p> <p>読み聞かせなどのボランティアの活動が学校・園等で活発に展開しやすくなるためには、研修や交流の場におけるレベルアップが必要である。そのために、県子ども読書アドバイザーと連携し、読み聞かせボランティアのレベルアップに繋がる講習等の開催を検討していく。</p>
			効果性	4	
			効率性(コスト)	4	
			効率性(人員)	4	
【再掲】 市立図書館と学校図書館との連携 (図書館・学校教育課)	5 ・ 3 ・ 3	90%	事業の妥当性	5	<p>年に一度市立図書館が主体となって各校と連携の取り方を話し合う場を設けている。 また、年2回の学校図書館連絡会を通じ、取り組みや課題などについて司書教諭や学校図書館司書との共通認識を持つことができた。しかし、担任や学校によって利用の温度差があるのが課題である。 またテーマ貸出や団体貸出により、各学校の授業への相互連携を行うことができた。</p> <p>③拡大</p> <p>学校図書館連絡会等を活用し、引き続き市立図書館と学校図書館相互の連携を図る。 先生方に呼び掛けて授業での調べ学習の場として市立図書館を活用するなど、本と楽しむ場を設定しながら読書活動を推進していく。</p>
			効果性	4	
			効率性(コスト)	5	
			効率性(人員)	5	

事業	項目	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向
第2次「御前崎市子ども読書活動推進計画」の策定 (図書館)	5 + 3 + 3	100%	事業の 妥当性	4	<p>子どもたちの読書環境の確立のため、策定会議を開催し第2次計画の内容について協議し、子どもの読書活動を継続的に推進するための今後の取り組みなどを盛り込んだ計画を策定することができた。</p> <p>②完了</p> <p>第2次計画の具現化と子どもの読書活動を取り巻く環境の変化に応じて計画の見直しを図っていく。</p>
			効果性	4	
			効率性 (コスト)	4	
			効率性 (人員)	4	
問題解決に対する情報提供などの支援 (図書館)	5 + 3 + 3	100%	事業の 妥当性	4	<p>辞書や事典などの参考図書の充実によって、利用者の研究・調査に役立てることができた。また利用者への適正なレファレンスサービスを行うことができたと感じる。</p> <p>①継続</p> <p>問題解決に対して図書館利用者が求めているものは様々であるが、その都度的確な支援が必要である。引き続き、職員のレファレンス力向上のため研修に積極的に参加し、その研修内容を職員間で共有し職員全体のレベルアップを図っていく。</p>
			効果性	4	
			効率性 (コスト)	3	
			効率性 (人員)	3	
電子情報の利用促進 (図書館)	5 + 3 + 3	100%	事業の 妥当性	4	<p>図書館ホームページでは、新着図書・展示・イベント・休館日などの情報を積極的に発信することができた。また新聞記事のデータベースについては、サイネージや案内板にて利用者に周知することで利用促進に繋がったと感じる。</p> <p>①継続</p> <p>職員間の情報共有を行い図書館利用者に向けて必要な情報を積極的・スピーディーに発信していく。またホームページの周知やデータベースサービスの利活用の推進などを広報誌だけではなく、関係機関と連携し広報していく。</p>
			効果性	4	
			効率性 (コスト)	3	
			効率性 (人員)	3	
図書館サービスとしてのレクリエーション (図書館)	5 + 3 + 3	100%	事業の 妥当性	4	<p>市民の集う拠点となるための取り組みの一つとしてレクリエーションを考える中で、どのようなレクリエーションを取り入れたらいいかを他館の状況も踏まえ研究することができた。</p> <p>③拡大</p> <p>実際にレクリエーションを行うことによって、市民の集う拠点となり来館者の増加に繋がっているか検証していく。さらに、最適なレクリエーションを把握し継続的に開催できるかについても検証する。</p>
			効果性	4	
			効率性 (コスト)	4	
			効率性 (人員)	4	

3-6-1 生涯を通じた体づくり

事業	項目	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向
【再掲】 小学生海洋体験活動 (社会教育課)	3 ・ 6 ・ 1	100%	事業の 妥当性	5	<p>御前崎マリンスポーツクラブに委託し、市内全小学校を対象として教室を開催することができた。内容についても海洋スポーツの実施とともに御前崎市の海の特徴やライフジャケットの重要性等の学習の要素を取り込み、地域特性のある事業を実施できた。</p> <p>①継続</p> <p>地域特性の高い事業として、今後も継続していきたい。</p>
			効果性	5	
			効率性 (コスト)	3	
			効率性 (人員)	3	
市民スポーツ大会「エンジョイスポーツ御前崎」の開催 (社会教育課)	3 ・ 6 ・ 1	100%	事業の 妥当性	4	<p>飯塚翔太選手ランニング教室、市体育協会に委託した小学生チャレンジ記録会や今年度新規に計画した最新機器フィットネス体験等の各種体験コーナーを実施し、約200人が参加した。</p> <p>2016年度から実施し、今年度で4年目となるが、他団体のスポーツ事業等が重なり、参加者数が伸び悩みぎみである。</p> <p>⑥中止</p> <p>効率性が低いことを考慮し、本事業を中止する。ただし、市民の関心の高い飯塚翔太選手のランニング教室は実施する。</p>
			効果性	3	
			効率性 (コスト)	2	
			効率性 (人員)	2	
軽スポーツ教室・大会の開催 (社会教育課)	3 ・ 6 ・ 1	100%	事業の 妥当性	4	<p>スポーツ推進委員の指導によって、ソフトバレー教室・大会、デカスポテニス教室等を開催した。ソフトバレー教室・大会等人気が高い事業については定員に近い人数が集まった。一方デカスポテニス教室や綱引き大会は定員の半数程度の参加者となった。</p> <p>①継続</p> <p>市民に人気のあるスポーツは継続し、参加者数が伸び悩む種目については新規スポーツとの入れ替えを検討していきたい。スポーツ推進委員の自主的な教室運営についても検討していくことで人員の効率性を改善していきたい。</p>
			効果性	4	
			効率性 (コスト)	4	
			効率性 (人員)	3	
マリンスポーツフェスタの開催 (社会教育課)	3 ・ 6 ・ 1	100%	事業の 妥当性	5	<p>御前崎港マリーナにおいて、牧之原市と共催事業として実施した。今年度は台風接近に伴ない、事業実施が危ぶまれたが予定通りの内容で実施できた。来場者については約200人と昨年度と比較し半減した。これは天候不良が大きく影響したと思われる。</p> <p>①継続</p> <p>御前崎市の地域特性を生かしたマリンスポーツ活動のPRのため、今後も継続して実施していきたい。</p>
			効果性	3	
			効率性 (コスト)	3	
			効率性 (人員)	3	

事業	項目	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向
静岡県市町対抗駅伝への参加 (社会教育課)	3 ・ 6 ・ 1	100%	事業の妥当性	5	<p>①継続</p> <p>少しずつではあるが、全体的に選手レベルは向上している。現有戦力の継続的な底上げとともに新規の候補選手を増加させ、数年後の上位入賞という目標に向けて中期的な戦略を立てていきたい。</p>
			効果性	4	
			効率性(コスト)	4	
			効率性(人員)	4	
<p>【再掲】</p> 体育施設の整備・改修 (社会教育課)	3 ・ 6 ・ 1	100%	事業の妥当性	5	<p>①継続</p> <p>施設利用者が安心して利用できる施設として、補助金の確保を併せ、計画的な更新・修繕工事の実施に努めていく。 また、費用対効果を検証しながら施設の継続、統合についても検討していく必要がある。</p>
			効果性	4	
			効率性(コスト)	3	
			効率性(人員)	3	
御前崎市振興公社との連携 (社会教育課)	3 ・ 6 ・ 1	100%	事業の妥当性	4	<p>①継続</p> <p>指定管理者によるスタジオ教室、水泳教室やB&G海洋センター、総合運動場等施設を利用した各種教室など様々なスポーツを楽しむ機会を提供し、多くの市民の参加があり、スポーツ振興及び健康増進を図ることができた。今後も、市民ニーズにあった事業展開に努めていく。</p>
			効果性	4	
			効率性(コスト)	4	
			効率性(人員)	3	
ラグビーワールドカップ公認チームキャンプ地の運営 (社会教育課)	3 ・ 6 ・ 1	100%	事業の妥当性	4	<p>②完了</p> <p>キャンプ地誘致の必須要件であるジム機器の調達と、補助練習会場の確保を行った。ジム機器の使用頻度は高かったが、補助練習会場の使用はキャンプ期間中ほぼ皆無だった。 南アフリカチームが浜岡北小学校へ訪問し全校児童と交流を行った。 キャンプ地運営の主幹は商工観光課であるが、練習会場の非公開等、イベントや情報発信等に制約が多く、市の活性化に貢献できたのかは疑問である。</p>
			効果性	3	
			効率性(コスト)	2	
			効率性(人員)	2	

V 2019 年度教育委員会の活動

(1) 御前崎市教育委員会委員の名簿

(2020 年 3 月現在)

役職名	氏 名	任 期
委 員	吉 村 勝	2016 年 6 月 24 日 ～ 2020 年 6 月 23 日
委 員	下 村 勝	2018 年 6 月 24 日 ～ 2022 年 6 月 23 日
委 員	竹 田 和 世	2019 年 6 月 24 日 ～ 2023 年 6 月 23 日
委 員	島 田 惠 美	2018 年 6 月 24 日 ～ 2021 年 6 月 23 日
教育長	河 原 崎 全	2018 年 4 月 1 日 ～ 2021 年 3 月 31 日

(2) 協議事項

項 目	件数	内 容
(1) 学校教育又は社会教育に関する一般方針を定めること。	1	○御前崎市教育委員会の主要施策を「スクラム御前崎」としてまとめ、教育委員会に諮り決定した。
(2) 学校、公民館及び図書館の設置及び廃止を決定すること。	1	○公民館の廃止
(3) 県費負担教職員の懲戒及び校長の任免その他の進退について内申すること。	1	○令和2年度教職員人事異動について内申を行った。(うち、懲戒件数0)
(4) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案について意見を申し出ること。	2	○令和元年度2月補正予算案(2月) ○令和2年度当初予算案(2月) について具申した。
(5) 社会教育委員、公民館運営審議会委員及び図書館協議会委員を委嘱すること。	1	○社会教育委員に2名を任命・委嘱した。
(6) 教科用図書の採択に関すること。	2	○令和2～5年度使用の小学校教科用図書を採択した。 ○令和2年度使用の中学校用教科用図書を採択した。
(7) その他	8	○令和元年度準要保護児童生徒の認定について ○個人情報紛失に係る措置について ○令和元年度御前崎市教育委員会の活動及び事務について点検・評価を行った。 について審議した。

VI 総合評価

常葉大学 堀井啓幸

はじめにー「スクラム御前崎」の評価と検証ー

平成 28 年度より浜岡中学校の建築委員会などに関わらせていただいております、一委員として教育委員会の運営が「市民目線」で行われていることを実感してきました。

特に、御前崎市の「スクラム型コミュニティ・スクール」は、すでにある学校と家庭、地域の連携の良さを生かそうとする「静岡型」コミュニティ・スクールの先陣を走っており、学校、家庭、地域をさらに結び付ける施策として様々な教育的成果をあげている。それは、教育長始め教育委員会、そして首長も含めて市民からの要望を大切にして行政施策を実施する姿勢と密接に関わっていると思われる。その点、多様な職務権限を持ち、多量、多様な教育事務を管理・執行する教育委員会において、御前崎市の場合は「スクラム御前崎」という機軸を基に、御前崎市の教育行政や学校教育が「スクラム」という視点でお互い共通理解がしやすい土壌を作っていることを評価したい。

ただ、「スクラム御前崎」も導入されて 5 年目になり、静岡県教育委員会から学校運営協議会における「合議の在り方」が全市町に対して問われていることも踏まえ、今回の教育委員会評価を通じて、「スクラム」の現状と課題を再点検することが求められる。ここでは、2020 年 2 月 18 日に行われた教育委員会に対する聞き取り及び自己点検・評価報告書等を参考に 2019 年度の御前崎市教育委員会の取組について「スクラム御前崎」の視点を中心に所見を述べる。

1. スクラムで推進する御前崎の教育

<施策 5-1-1>に関わって

「スクラム御前崎」の基盤を作っている学校運営協議会は、2019 年度も中学校区毎、年間 4 回にわたって数多くの委員（浜岡中学校区 29 名、御前崎中学校区 24 名）が集合し、各委員の積極的な意見交流の下で運営されている。学校運営協議会を中心にして「早寝早起き朝ごはん」「ゲーム障害・ネット依存」などについて学校、家庭、地域における共通理解が図られ、成果をあげている。静岡県下において、これだけの人数が定期的に集まる学校運営協議会は少なく、社会教育課との連携も当たり前に行われていることの教育的意義は大きい。学校、家庭、地域を代表する委員が、多様なまなざしで、みんな顔を突き合わせて、おらが地域、おらが学校、おらが子どもたちのことを考えるところに信頼関係が生まれ、御前崎の教育の良さ（強み）を醸成していると思われる。ただ、これだけの人数を集めて、「市民における認知度はあまり高くない」とすれば、今後、委員の世代交代の問題も含めて、学校運営協議会の在り方について再検討していくことも求められる。「スクラム御前崎」の下に多様な施策が実施されているが、学校運営協議会の在り方の再検討とともに、学校支援地域本部におけるコーディネーター養成やボランティアや学校の加重負担にならない「スクラムカレンダー」の作成など持続可能な取組としてさらに充実させていただきたい。

総合教育会議・移動教育委員会の実施について、「効果性」は 5 段階の 3 の評価となっている。この項目は「重点取組」にも組み込まれており、その「執行度」も他の項目と比べると高くはない。首長、教育長が「市民目線」で関わっている現状を考えれば問題はないが、

今年度1回開催された移動教育委員会のテーマである「教員の負担軽減」の問題や予算に関わる施策については総合教育会議や移動教育委員会のさらなる充実を図り、意見を効果的に集約することも求められる。防災教育の推進についても、昨年度の評価同様に「執行度」は必ずしも高くはないが、この項目も「重点目標」に組み込まれており、今後どのように展開していくか創意工夫した取組が求められる。例えば、大阪府松原市では、市内すべての小中学校をインターナショナルセーフスクール認証校として教職員だけでなく子ども達に安全・安心に対する意識化を図っており、市内全体でセーフコミュニティをつくろうとしている。「スクラム御前崎」の着実な実践を生かした防災教育のさらなる充実を期待したい。

＜施策5-1-2＞に関わって

「スクラム御前崎」のもと「地域ぐるみで取り組む青少年健全育成の推進」についても、市青少年健全育成会議・地区推進委員会の開催、サポート隊、こども110番の家、声かけ運動、青少年補導員活動、情報モラル学習の推進、「青少年の未来をつむぐ集い」の開催、成人式の開催、小・中連携体験事業、灯台村塾、親子工作教室、家庭教育支援員の配置、家庭教育学級の支援、家庭教育の推進など多様な施策が実施されている。

このうち、情報モラル学習の推進については、「重点取組」に組み込まれている情報教育の推進と密接に関わっており、「ギガスクール」構想（小中学生に一人一台パソコンやタブレット端末を配置する政府の構想）に関わって、御前崎市は1億5000万円の経費を計上している。「ギガスクール」の視点は、学校教育領域のタスクとしてだけでなく、ネット犯罪や「ネット依存の対応」、「ゲーム障害」など青少年指導のタスクとしても学社連携しての取組を進めていくことも大切である。その点、「スクラム御前崎」の内実に関わる教育委員会における各担当課のさらなるスクラムの在り方が問われている。

家庭教育支援については、「家庭教育の充実」として「重点取組」にも組み込まれており、家庭教育支援員の配置やスタートアップカリキュラム冊子の作成や指導など積極的に取り組まれている。児童虐待件数の急増だけでなく、少子高齢化がこれまで以上に社会問題化するであろう令和の時代は「家族や親の存在意義が根底から問われる時代」と言ってもよい。改めて、教育基本法の第13条「学校、家庭及び地域住民その他の関係者は、教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚するとともに、相互の連携及び協力に努めるものとする。」という規定にかかわって、家庭教育支援の在り方が新たに問われる必要がある。家族形態や家族問題が多様に変化し、家族を「ライフサイクル」ではなく「ライフスパイラル」としてとらえざるを得ない今日的状況の下で、家族形態の多様性とともにある「子どもの育ち」の多様性をどのようにみて、どのように支援していくか。「子どもの育ち」の多様性を認知した上で家庭教育支援の在り方が検討されなければならない。その点、就学前からの支援や指導の重要性に鑑みて、指導主事が作成された「アプローチ・スタートアップブック」をどのように活用していくか。点ではなく、線、面として生かすためには小学校に幼保小連携を担当する教員の配置をするなどの施策も考えられる。

「遊び込む子」をどう小学校に活かしていくのか、施策5-2-1（スクラム・スクール・プラン）との関わりにおいて、ボトムアップ型連携のさらなる充実を期待したい。

2. スクラム・スクール・プランで推進する子どもの育成

＜施策5-2-1、5-2-2、5-2-3、5-2-4＞に関わって

平成31年度の全国学力・学習状況調査に加えて、市独自の学力調査の実施し、また、スクラム研究会、スクラムゼミナールなど多様な研修会にそれぞれの分野の最前線の実践研究を行っている著名な専門家を招いて質の高い研修を行っている。また、子ども達の学習の充実のために、ALT及び英語活動指導員の配置、ICT支援員の配置、しおかぜ先生、学習支援員、にこやか相談などの人的配置もきちんとなされており、きめ細やかな配慮の行き届いた施策が実施されている。とりわけ、御前崎市の特色を生かす施策として、灯台村塾や、エネルギー教育の充実、読書活動の充実発展のための学校図書館司書（3人）の配置を評価したい。それらの施策の成果は、平成31年度の全国学力・学習状況調査結果に反映している。今後の課題として、平成31年度の全国学力・学習状況調査結果に加え、「市独自の学力調査」結果も踏まえて、どこを課題として今後どのように改善していくかを総合的な戦略として明確にし、幼保小中高という学校段階、そして、大学への進学や社会に出ていく御前崎市の子ども達の育成にどう結び付けていくのか長期、中期、短期的な施策として具現化していくことが求められる。

他市町同様に幼稚園、保育所、認定こども園職員の確保に苦心されているが、「重点取組」における「乳幼児教育の長期計画の検討」とも関わって、「スクラム御前崎」の強みを生かした人材発掘や「幼保小連携」を活発にすることによる御前崎市の教育基盤としての幼児教育の充実を図りたい。

ハード面の教育環境整備については、浜岡中学校の改築工事が始まり、2021年3月に完成することになった。御前崎市の教育の強みを具現化する学校建築として期待したい。また、給食費未納者の解消に関わって2020年度から給食費は市が負担することになり、御前崎市の教育の魅力としてアピールしたい。

3. 誰でもいつでもどこでも学べる生涯学習の推進

5-3-1、5-3-2、5-3-3及び5-6-1（生涯を通じたからだづくり）に関わって

「スクラム御前崎」のもと、市文化祭の開催、伝統文化親子教室、小学生海洋体験活動、御前崎市振興公社との連携での絵画教室、人形劇など学社連携の事業だけでなく、市民のための様々な生涯学習（スポーツ）支援の施策が行われており、市民の評価も高い。また、地域の文化財継承のために、アカウミガメの保護活動、地区文化財の継承、文化・芸術活動の推進も積極的に行われている。特に、「市民とともに考えとともに歩む図書館づくり＜施策5-3-3＞」に関わって、市立図書館事業のさらなる充実とともに、市立図書館と学校図書館、学校図書館司書と司書教諭の連携をさらに密にすることで、学校教育における読書活動の推進と連動した市民に身近な図書館づくりがさらに進むことが期待される。こうした読書活動の推進が「スクラム御前崎」の内実の充実につながろう。2020年度より公民館が地区センター化（所管が首長部局となる）されても、これまでの各地区の生涯学習（社会教育）の拠点としての公民館の役割の重要性を踏まえて、地区公民館の独自性ととも「スクラム御前崎」のネットワークを生かした生涯学習基盤の充実につなげたい。

おわりにー自己点検・評価報告書の書式の変更についてー

従来の大項目ごとの評価の視点でいえば、2019年度においても御前崎市教育委員会は、「第2次御前崎市総合計画 2016～2025」及び「2019年度スクラム御前崎ー郷土を愛し未来を創る人づくりー」に体系的に示された教育施策を踏まえて、着実に管理・執行していると総括されよう。

ちなみに、これまでの報告書では、1教育委員会の活動、2教育委員会が管理・執行する事務、3教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務と、3つの大項目に区分して評価を行ってきた。特に、1においては、点検事項として教育委員会会議の開催回数、運営、広報・公聴、研修会などの小項目を設けて、点検・評価がなされてきており、検証としてわかりやすい部分もあった。

今回の報告書では、「重点取組」と「御前崎市教育委員会自己点検及び評価」に大別し、「執行度」という大きな評価項目と、「事業の妥当性」「効果性」「効率性（コスト）」「効率性（人員）」そして、「今後の方向」（継続、拡大、中止、転換）としてまとめた形になっている。これまでのマトリックス型の評価様式をわかりやすく改善した側面もあるが、言葉として、また、実態としてわかりにくい点もある。例えば、「執行度」と「達成度」との違いや「効果性」「効率性（コスト）」「効率性（人員）」における評価はどんな視点が評価の決め手になっているのかなど、報告書としてもう少し市民に分かりやすい説明や事業報告が求められるのではないかと思われた。